東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事

番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
M-001	表紙・図面リスト	N.S	TM-101	撤去　空気調和設備　機器表	N.S
特M-001	機械設備　特記仕様書（1）	N.S			
特M-002	機械設備　特記仕様書（2）	N.S	TM-201	撤去　空気調和設備　1階　ダクト平面図	1/100
M-002	案内図・全体配置図	1/300	TM-202	撤去　空気調和設備　2階　ダクト平面図	1/100
			TM-203	撤去　空気調和設備　3階　ダクト平面図	1/100
M-101	空気調和設備　機器表（1）	N.S	TM-204	撤去　空気調和設備　4階　ダクト平面図	1/100
M-102	空気調和設備　機器表（2）	N.S			
			TM-301	撤去　空気調和設備　1階　配管平面図	1/100
M-201	空気調和設備　1階　ダクト平面図	1/100	TM-302	撤去　空気調和設備　2階　配管平面図	1/100
M-202	空気調和設備　2階　ダクト平面図	1/100	TM-303	撤去　空気調和設備　3階　配管平面図	1/100
M-203	空気調和設備　3階　ダクト平面図	1/100	TM-304	撤去　空気調和設備　4階　配管平面図	1/100
M-204	空気調和設備　4階　ダクト平面図	1/100	TM-305	撤去　空気調和設備　5階　配管平面図	1/100
M-205	空気調和設備　5階　ダクト平面図	1/100			
			TM-401	撤去　二次側動力設備　1階　平面図	1/100
M-301	空気調和設備　配管系統図	N.S	TM-402	撤去　二次側動力設備　2階　平面図	1/100
M-302	空気調和設備　1階　配管平面図	1/100	TM-403	撤去　二次側動力設備　3階　平面図	1/100
M-303	空気調和設備　2階　配管平面図	1/100	TM-404	撤去　二次側動力設備　4階　平面図	1/100
M-304	空気調和設備　3階　配管平面図	1/100	TM-405	撤去　二次側動力設備　5階　平面図	1/100
M-305	空気調和設備　4階　配管平面図	1/100			
M-306	空気調和設備　5階　配管平面図	1/100			
M-401	二次側動力設備　1階　平面図	1/100			
M-402	二次側動力設備　2階　平面図	1/100			
M-403	二次側動力設備　3階　平面図	1/100			
M-404	二次側動力設備　4階　平面図	1/100			
M-405	二次側動力設備　5階　平面図	1/100			
M-501	電気設備取外し再取付　1階　平面図	1/100			
M-502	電気設備取外し再取付　2階　平面図	1/100			
M-503	電気設備取外し再取付　3階　平面図	1/100			
M-504	電気設備取外し再取付　4階　平面図	1/100			

概要図

特記事項

訂　正

テクノ工営 一級建築士事務所

業務名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務

工事名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事

施設部長 保全課：見明　戸田　黒須　筋野

図面名称：表紙・図面リスト

作成年度：令和8年

縮尺：N.S　A1　N.S　A3

図面番号：M － 001

東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事

Ⅰ 工 事 概 要

1． 工事場所　東京都文京区本郷七丁目3番1号（東京大学構内）

2． 完成期限　令和　9年　3月　19日（金曜日）

3． 建物概要

建物名称		薬学部資料館			
工種		模様替			
構造		RC造			
階数		地上5階			
建築基準法による	建築面積(㎡)	—			
	延べ面積(㎡)	1,263.00㎡			
消防法施行令別表第一の区分		(t)項			
改修面積（㎡）		1,263.00㎡			
備考					

4． 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			
	薬学部資料館			
● 空気調和設備	一式			
● 換気設備	一式			
○ 排煙設備				
○ 自動制御設備				
○ 衛生器具設備				
○ 給水設備				
○ 排水設備				
○ 給湯設備				
○ 消火設備				
○ ガス設備				
○ 雨水利用設備				
● 撤去				

5． 指定部分　● 無　　○ 有　対象部分（　　）
　　指定部分工期　　年　月　日

6． 概成工期　● 無　　○ 有　令和　年　月　日（　曜日）
　（第1編1.1.2）　［第1編1.1.2］

7． 設備概要（●印の付いたものを適用する）

方式及び種別	設備概要
空調方式 主要熱源機器	● 空冷パッケージ形空気調和機 ○
自動制御方式	○ 電気式　○ 電子式　○ デジタル式
給水方式	○ 高置タンク方式　○
排水方式	建物内の汚水と雑排水　（ ○ 合流式　○ 分流式 ） ポンプ排水　○ 有（ ○ 汚物 ○ 雑排水　○ 湧水 ）○ 無 排水槽　○ 有（計画容量　m3）　○ 無 建物外放流先 （１）汚　水　○ 直放流下水管　（２）雑排水　○ 直放流下水管
消火設備 の種類	○ 屋内消火栓設備　○ スプリンクラー設備　○ 泡消火設備 ○ 連結散水設備　○ 連結送水管 ○ 不活性ガス消火設備（　）
ガスの種類	○ 都市ガス（種別　、高位発熱量　、低位発熱量 供給圧力　Pa、一般ガス導管事業者名　） ○ 液化石油ガス

※改修の場合は既存概要を示す

Ⅱ 工 事 仕 様

1． 共通仕様

（１）東京大学工事請負契約要領別記第１号の工事請負基準、現場説明書、図面４１枚及び本特記仕様書２枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
- ● 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和７年版)(以下「標準仕様書」という。)
- ● 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和７年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- ○ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和７年版)(以下「標準図」という。)
- ● 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和７年版)(以下「文科仕様書」という。)
- ○ 工事写真撮影要領(令和５年９月)

（２）建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
　なお、建築工事の特記仕様書は（_____）図、電気設備工事の特記仕様書は（_____）図による。

2． 特記仕様

（１）本特記仕様書の表記
　１）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。
　２）項目に記載の（第　編　.　.　）内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。
　３）項目に記載の［第　編　.　.　］内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。
　４）項目に記載の＜第　編　.　.　＞内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

章	項目	特記事項

●一般共通事項

○適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○ 風圧力
　風速（Vo=　　m/s）
　地表面粗度区分（　　）
○ 積雪荷重
　建設省告示第1455号における区域　別表（　　）

●電気保安技術者
（第1編1.3.2）
［第1編1.3.2］

この工事現場に，下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項目名	電気保安技術者
1.第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	●
2.１級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
3.高等学校又はこれと同等以上の教育施設において，電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	●
4.旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	●
5.公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	●
6.第１種電気工事士の資格を有する者	●
7.２級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
8.第２種電気工事士の資格を有する者	●
9.短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	●

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

○施工条件
（第1編1.3.3）
［第1編1.3.3］

本工事は居ながら改修となるため、騒音・振動・粉塵・臭気等の発生を必要最低限とする事。

○発生材の処理等
［第1編5.1.1
～2］

発生材の処理は、下記による。

(1)　引渡しを要するもの
　1）品　名
　2）引渡し先
　3）集積場所
　4）集積方法

(2)　特別管理産業廃棄物
　1）品　名
　2）処理方法

(3)　現場において再利用するもの
　1）品　名
　2）使用場所

(4)　再生資源化するもの
　1）品　名

(5)　その他の発生材
　1）品　名
　2）処理方法

●環境への配慮
（第1編1.4.1）
［第1編1.4.1］

(1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジーｎ－ブチル及びフタル酸ジー２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

●機材の品質等
（第1編1.4.2）
［第1編1.4.2］

（１）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（２）下表に機材名が記載された製造業者等は、以下に指定する事項を満たす証明とする資料を提出して監督職員の承諾を受ける。
　ただし、以下に指定する事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。
○ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
○ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
○ 安定的な供給が可能であること。
○ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
○ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
○ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機材名
・マルチパッケージ形空気調和機
・全熱交換ユニット

○機材の検査等
機材の検査に伴う試験
（第1編1.4.4～5）
［第1編1.4.4～5］

監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機材名	検査	試験	備考
	○	○	
	○	○	
	○	○	

●施工調査
［第1編1.5.1～4］

事前調査 ● 本工事　○ 別途
　調査内容
　　調査項目 ● 既存資料調査
　　調査範囲 ○ 図示　○
　　調査方法 ○ 図示　○

●技能士
（第1編1.5.2）
［第1編1.6.2］

下記の職種及び作業に適用する。
- ● 配管（配管工事）
- ● 建築板金（ダクト製作及び取付）
- ● 熱絶縁施工（保温工事）
- ○ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット等の据付及び整備）

○施工の検査等
検査に伴う試験・立会い等
（第1編1.5.4～5）
（第1編1.5.8）
［第1編1.6.5～6］
［第1編1.6.9］

下記の施工部分は，監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。

施工部分	検査	立会	試験	備考
	○	○	○	
	○	○	○	
	○	○	○	

○技術検査
（第1編1.6.2）
［第1編1.7.2］

●完成時の提出図書
（第1編1.7.1～5）
［第1編1.8.1～6］

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名称	体裁等
●完成図	CADデータ（電子納品）及び電子データ
○　〃	原図 ○ A1版（　部）○ A3版（　部）
●　〃	複写図製本（A4版黒厚紙表紙金文字入）（3部）
●　〃	複写図仮製本 ○ A1版（3部）　● A3版（3部）
● 保全に関する資料	● 紙媒体（3部）　● 電子データ
●工事写真	● 紙媒体（1部）　● 電子データ

※紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。
電子納品は次による。
（１）貸与する設計図CADデータの著作者名：文部科学省
　　ファイル形式：JWW
　　貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図以外に使用しないこと。
（２）電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。
（３）電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。
（４）提出方法及びファイル形式は以下による。
　　CADデータ：JWW、DXF及びPDF
　　提出方法：CD又はDVDに保存し、__部提出する。

○石綿含有建材の調査
［第1編1.5.1］
［第1編4.1.2］

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

●他工事又は他工種との取り合い

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

●電動機
（第2編1.2.1）
［第2編1.2.1］

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

●電源周波数

● ５０Ｈｚ　　○ ６０Ｈｚ

●容量等の表示

（１）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
（２）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

●総合試運転調整
（第2編1.5.6）
［第2編1.6.7］

● 本工事　　○ 別途
調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）
● 風量調整　○ 水量調整　● 室内外空気の温湿度の測定
○ 室内気流及びじんあいの測定　● 騒音の測定　○ 飲料水の水質の測定
○ 雑用水の水質の測定　○

●足場その他
（第2編4.1.1）
［第1編2.2.1］

○ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
● 本工事で設置する。（　　図参照）
● 内部足場（○　種○　種）○ 外部足場（○　種○　種）
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

○埋め戻し土・盛土
（第2編4.2.1）
［第2編4.2.1］

○ 根切り土の良質土　　○ 山砂の類

以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。
○

○建設発生土の処理方法
（第2編4.2.1）
［第2編7.1.1］

○ 構内敷きならしとする。　○ 構外に搬出し、適切に処分する。

●耐震措置

設備機器の固定は、次によるほか、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。
（１）機器の据付け及び取付け
　設計用水平地震力は、機器の重量[kN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数_____及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

	機器種別	○ 特定の施設		● 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次による。
　［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
　［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
　［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
　［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
　［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］

（２）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。

●配管
（第2編第2章）
［第2編第2章］

（１）ステンレス鋼管の接合は、下記による。
　○ 呼び径６０Ｓｕ以下（○ ＳＡＳ３２２を満足した継手　○　）
（２）溶接部の非破壊検査　○ 不要　○ 要（　　）
フレキシブルジョイントを備える配管は、適正な面間寸法が保持できるよう施工し、その寸法を記録保存する。

○地中埋設標等
（第2編2.7.1～3）
［第2編2.7.1～3］

（１）地中埋設標　　○ 要（図示による）　○ 不要
（２）埋設表示テープ　○ 要（排水管を除く）　○ 不要

○絶縁継手
（第2編2.2.12）
［第2編2.4.1］

図示の位置に取り付ける。

●試験
（第2編2.9.1～5）
［第2編2.9.1～7］

既設配管を含む部分の試験 ● 要（冷媒管）
　　○ 不要

●保温
（第2編3.1.1～6）
［第2編3.1.1～4］

標準仕様書第２編によるほか次による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。

○ 多湿箇所は下記による。
　室名：
○ 共同構内の保温種別は下記による。
　ダクト：
　配管：

○塗装
（第2編3.2.1）
［第2編3.2.1］

次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。
○ 屋外：　○ ドレン管　（ ○ 指定色塗装　○　　）
　　○ 金属電線管（ ○ 溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ[付着量300ｇ/㎡以上]
　　○ 指定色塗装）
○ 屋内：　○ 金属電線管（ ○ 溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ　○ 指定色塗装）
※配管以外にも塗装が必要な機器、材料について記載する。

○天井仕上区分

（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

○電線類
（第2編4.7.1）
［第2編4.7.1］

電線及びケーブルはエコマテリアル仕様とする。

○監視・制御システムのサイバーセキュリティ

外部ネットワークと接続する制御システム
○ あり（対象設備：　　）　○ なし
外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策
○ ファイアウォール　　○ 統合脅威管理（UTM）
盤・キャビネットの錠の鍵
○ 製造者の標準鍵
○ 鍵の指定あり
　対策機器　（ ○ 監視盤　○ 自動制御盤　○　　）

●既存躯体への穿孔
［第2編6.2.1］

はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。

○ 走査式埋設物調査　　● 放射線透過検査

概要図

工事名称	施設部長	保全課			
東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 The University of Tokyo	見明	戸田	黒須	筋野
図面名称：機械設備　特記仕様書（１）	縮尺 A１：－ A３：－	年度 R８	図面番号 特M－001		

● 空気調和設備

●設計温湿度

	外　気		屋　内					
	一般系統		一般系統		個別系統			
	温　度	湿　度	温　度	湿　度	温　度	湿　度	温　度	湿　度
夏　季	℃	%	26.0℃	45.0%	℃	%	℃	%
冬　季	℃	%	22.0℃	—　%	℃	%	℃	%

○鋼板製煙道
（第3編1.1.2）
［第3編1.1.1］

鋼板厚（ ○ ３．２mm　○ ４．５mm）

○ダクト
（第3編1.14.1 ～5）
［第3編1.1.1］

○ 低圧ダクト（ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
　○ アングルフランジ工法　　　）
○ スパイラルダクト（　○ 低圧　　○　　　　　）
○ 高圧１ダクト（範囲は図示による。）
○ 塩化ビニルライニング鋼板製ダクト
JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
製作及び取付は公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編2.2.2~3「アングルフランジ工法ダクト」、「コーナーボルト工法ダクト」の当該事項による。ただし、ダクト補強において、補強リブ加工及びスポット溶接は行ってはならない。
○ ステンレス鋼板製ダクト（ ○ ステンレス鋼（SUS 304）製支持材）
JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
○ 長方形ダクト
○ SUS A ダクト
材料を全てステンレス製とし、他の材料は公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」による。
○ SUS B ダクト
材料で、ダクトの内側で内部空気に接する鋼板、リベット等をステンレス製とし、他の材料は公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」による。
板厚は、JIS A 4009による。
○ 硬質塩化ビニル製ダクト
JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
○ 長方形ダクト
板厚は、JIS A 4009による。

長方形ダクトの吊り金物及び支持金物　単位 mm

ダクトの長辺	棒鋼吊り金物			支持金物	
	山形鋼寸法	棒鋼	最大間隔	山形鋼寸法	最大間隔
500以下	30x30x3	呼び径9	4,000	30x30x3	4,000
500を越え1,000以下	40x40x3	呼び径9	4,000	40x40x3	4,000
1,000を越え1,500以下	40x40x3	呼び径9	3,000	40x40x3	3,000
1,500を超え2,000以下	40x40x5	呼び径9	3,000	40x40x5	3,000

○ 円形ダクト
板厚は、JIS K 6741（硬質ポリ塩化ビニル管）によるVU管とする。
接続は、冷間工法による差込接合又は熱風溶接による当て板を用いた突合わせ接合とし必要に応じ以下によるフランジ接合とする。

円形ダクト接合材料　単位 mm

ダクトの長辺	接合用フランジ	接合用ボルト	
	硬質塩化ビニル製アングル最小寸法	ねじの最小呼び径	最大間隔
400以下	40x40x5	M8(M10)	75
400を越え500以下	50x50x5	M8(M10)	75

注　接合用ボルト（　）内は、硬質塩化ビニル製ボルトの場合を示す。
支柱による内部補強は、接合用フランジの片側のみとし、取付座を設けて、呼び径50mmのVU管を溶接するか呼び径25mm のVU管に、呼び径15Aの鋼管を挿入したものをボルトにより、フランジと共に締め付け補強をする。

円形ダクトの吊り金物及び支持金物　単位 mm

ダクトの長辺	棒鋼吊り金物			支持金物	
	平鋼寸	棒鋼	最大間隔	形鋼寸法	最大間隔
300以下	30x3	呼び径9 (1本吊り)	4,000	30x30x3	4,000
300を越え500以下	40x3	呼び径9 (2本吊り)	4,000	40x40x3	4,000

○ グラスウール製ダクト（長方形ダクト）
JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。
最大風速13m/s 以下で、長辺の長さが2,000mm 以下の低圧ダクトに適用する。また、ダクト内温度は70℃以下、ダクト周辺温度は-30℃から70℃の範囲とする。ただし、排煙ダクト、厨房など火気使用室の排気ダクト、及び多湿箇所には使用しない。

長方形ダクトの吊り金物及び支持　単位 mm

補強材	最大間隔
なし	2,400
あり	2,000

注1　支持材料は、軽量形鋼50×25×5×0.5t以上とする。
2　吊り鋼棒は、呼び径9mm とする。
○ 塩ビライニング鋼板製スパイラルダクト
直管は、JIS A 4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.4「スパイラルダクト」による。
継手は、両面にポリ塩化ビニル（塩化ビニル樹脂）を塗布したものとする。
製作及び取付は、公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編 2.2.2~3「スパイラルダクト」に準ずる。ただし、ダクトの接合に用いるスクリュービスはステンレス製とする。
○ ステンレス製スパイラルダクト
直管は、JIS A 4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.4「スパイラルダクト」による。
継手は、JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）によるSUS 304を用いてはぜ継ぎ又は溶接したものとする。
製作及び取付は、公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編 2.2.2~3「スパイラルダクト」に準ずる。ただし、ダクトの接合に用いるスクリュービスはステンレス製とする。

○チャンバー
（第3編1.14.4）
［第3編1.2.1］

（１）内貼を施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（２）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。
（３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバーは雨水の滞留のないように施工する。

○ダンパー
（第3編1.15.6 ～14）
［第3編1.1.1］

（１）防煙ダンパー　　復帰方式 遠隔復帰式(定格入力DC24V)
（２）ピストンダンパー　復帰方式 遠隔式

●配管材料及び記号
（第2編2.1.1 ～2）
［第2編2.1.1］

配管材料及び記号は（○ 下記による。 ○ 図示による。）

（１）蒸気管　給気管　○ 黒管（JIS G 3452）
　○ 黒管 Sch40（JIS G 3454）
　○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3448）
　○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3459）
還管　○ 黒管 Sch40（JIS G 3454）
　○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3448）
　○ ステンレス管（SUS304・JIS G 3459）
（２）油管　○
（３）冷温水管　○
（４）冷却水管　○
（５）ドレン管　● 配管用炭素鋼鋼管（白）
（６）冷媒管　● 冷媒用断熱被覆銅管
（７）高温水管　送り ○ 送り　─┼ H ─┼─ H ┼─
還り ○ 還り　─┼ HR ─┼ HR ┼─　※破線としてもよい。
（８）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管
○

○弁類
（第2編2.2.1 ～6）
［第2編2.1.1］

○ 図面に特記なき場合の耐圧は、ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ とする。
○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
○ ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。
○

●保温及び消音内貼
（第2編3.1.1 ～2）
［第2編3.1.1］
［第2編3.1.3］

標準仕様書第２編３．１．４によるほか、次による。

○ 蒸気還り管の保温不要（屋内露出は除く。）
○ 還気ダクトの保温要（保温の厚さ２５mm、範囲は図示による。）
○ 外気ダクトの保温要（保温の厚さ２５mm、範囲は図示による。）
○ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。
○ 建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。（エア抜き弁以降の配管は除く。）
○ 暗渠内（ピット内を含む）の空調用ドレン管は保温（　○ 有 ○ 無 ）とする。
○ 冷媒管の保温外装は次による。
○ 図示による
● 屋内露出箇所（　　合成樹脂製カバー　　）
● 屋外露出箇所（　　ステンレス鋼板　　）

○塩化ビニル製送風機・強化プラスチック製送風機

（１）遠心送風機
① ケーシングは、硬質塩化ビニル板（JIS K 6745）又は繊維強化プラスチック（FRP:ガラス繊維強化プラスチック、FRTP：ガラス繊維強化熱可塑性プラスチック）等耐食性に優れた材料により製作され、風圧に対して十分な強度を有するように鋼板、形鋼、硬質塩化ビニル製又は繊維強化プラスチック製アングルにて外部から補強したものとする。また、ケーシング下部には必要に応じ水抜きを設ける。
② 羽根は、硬質塩化ビニル板（JIS K 6745）又は繊維強化プラスチック（FRP:ガラス繊維強化プラスチック、FRTP：ガラス繊維強化熱可塑性プラスチック）等耐食性に優れた材料により成型製作され、高速運転に耐えるものとする。
③ 羽根車のハブ部品及び主板部分は必要に応じ、金属材料で補強し、金属部は耐食材料で被覆する。
④ 軸はJIS G 4051（機械構造用炭素鋼鋼材）によるS30C以上又は特殊鋼製とし、接ガス部は耐食材料で被覆する。軸受けはラジアル及びスラスト型とし、荷重に耐えられるものとし、長時間の連続運転に耐えるものとする。
（２）軸流送風機
前記遠心送風機に準じて製作するものとする。

● 換気設備

●ダクト
（第3編1.14.1 ～5）
［第3編1.1.1］

○ 低圧ダクト（ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
　○ アングルフランジ工法　　　）
● スパイラルダクト（　● 低圧　　○　　　　　）
○ 高圧１ダクト（範囲は図示による。）
○ 厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第３編１．１４．１～５のダクトの板厚の項より１番手厚いものとする。（範囲は図示による。）

○ダンパー
（第3編1.15.6） ～14）
［第3編1.1.1］

空気調和設備の当該項目による。

○シールする排気ダクトの系統

○ 厨房系統
○ 浴室（シャワー室、脱衣所を含む）
○

○チャンバー
（第3編1.14.6）
［第3編1.1.1］

空気調和設備の当該項目による。

●保温
（第2編3.1.4）
［第2編3.1.4］

● 全熱交換ユニット用の外気取入れダクトの保温範囲は外壁より機器までとする。
● 全熱交換ユニット用の排気用ダクトの保温範囲は外壁より1.0mとする。
○ 厨房の隠ぺい部ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。
○ 湯沸室の隠ぺい部ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。

○ 排煙設備

○ダクト
（第3編1.14.1）
［第3編1.1.1］

○ 亜鉛鉄板　　○ 普通鋼板（厚１．６mm）

○排煙口の形式

○ パネル形　（ ○ 天井取付　　○ 壁取付）
○ スリット形（ ○ 天井取付　　○ 壁取付）
○ ダンパー形（ ○ 天井内取付　○　　　）

○排煙口開放及び復帰方式

○ 電気式（遠隔操作　○ 要　　○ 不要）
排煙口から手動解放装置への配線は、標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１による耐熱・耐火ケーブルとする。

○排煙風量測定

建築設備定期検査業務基準書　２０２３年版 及び
建築設備定期検査業務基準書-改正定期検査告示（令和７年７月１日施工）
（(一財)日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。

○ 自動制御設備

○システム構成その他

別図による。

○電気計装用配線
（第4編1.5.1）
［第4編1.1.1］

屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。

○ 衛生器具設備

○自動洗浄装置及びその組み込み小便器

○ 個別感知フラッシュ方式（ ○ ＡＣ電源　○ 自己発電）

○自動水栓の電源種別
（第5編1.1.7）
［第5編1.1.1］

○ ＡＣ電源
○ 自己発電

○衛生器具ユニット
（第5編1.1.3）
［第5編1.1.1］

別図による。

○ 給水設備

○配管材料
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（　○ 下記による。　○ 図示による。）
（１）一般配管　○
　○
（２）地中配管　○
　○
（３）水道直結配管 ○ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中埋設配管は（ ○　　　）とし、他の部分は（１）による。

○量水器
（第2編2.2.16）
［第2編2.1.1］

○ 親ﾒｰﾀｰ　（ ○ 現地表示式（直読式）○ 遠隔表示式（ ○ 電文式　○ ﾊﾟﾙｽ式））
（ ○ 貸与品　○　　　）
○ 子ﾒｰﾀｰ　（ ○ 現地表示式（直読式）○ 遠隔表示式（ ○ 電文式　○ ﾊﾟﾙｽ式））
（ ○ 買取り　○　　　）

○量水器桝
（第5編1.8.4）
［第5編1.1.1］

○ 水道事業者指定品　（ ○ 貸与品　○ 買取り）　○ 標準図ＭＣ形

○弁類
（第2編2.2.1 ～6）
［第2編2.2.1］

○ 図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋ とする。
○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
○ 水道直結部分の耐圧は、１０Ｋとする。

○水栓柱
（第2編2.2.23）
［第2編2.1.1］

○

○管の地中埋設深さ
（第2編2.7.2）
［第2編2.7.2］

埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、
車両通行部分は（ ○ ６００mm　○　　　mm）
その他の部分は（ ○ ３００mm　○　　　mm）以上とする。

○建築物導入部

○ 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領 ）による。
（ ○（ａ） ○（ｂ） ○（ｃ））
○ 別図による。

○引込納付金等

○ 要 （ ○ 本工事（納付金を含まない。）○ 別途）
○ 不要

○ 排水設備

○ 配管材料及び記号
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料及び記号は（○ 下記による。　○ 図示による。）
（１）屋内　雑排水管（合流）　○
　雑排水管(給湯室系統)　○
　汚水管　○
　通気管　○
　ﾎﾟﾝﾌﾟｱｯﾌﾟ管　○
　実験排水管　○ SGP-PB(JWWA K 132) +ポリ粉体鋼管継手(JPF DF 001)
　○ 塩ビ管(JSWAS K-1)
　── P ──── P ──
　※鋳鉄管は　─(── P ─(──
（２）屋外　第一桝まで　○
　桝間　○
※実験排水とは、下水道法、水質汚濁防止法でいう特定施設からの実験洗浄排水をいう。

○台所流し等排水管

洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
台所流し等の床上露出部分の配管は、塩ビ管（ＲＦ－ＶＰ）とする。
大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、塩ビ管（ＲＦ－ＶＰ）とする。

○満水試験継手

図示の位置に取り付ける。

○ガソリントラップ

○ 鋳鉄製　　○ ステンレス鋼板製　　○

○Uトラップ

○ 鋳鉄製（JPF DF 001）　○

○流しトラップ

本体　○ 鋳鉄製（JCW-202）　○ ステンレス製　○
バケット　○ 黄銅製　○ ステンレス（SUS304）製　○
ストレーナ　○ 黄銅製ニッケルークロムめっき仕上げ　○

○放流納付金等

○ 要 （ ○ 本工事（　　　　　）　○ 別途）
○ 不要

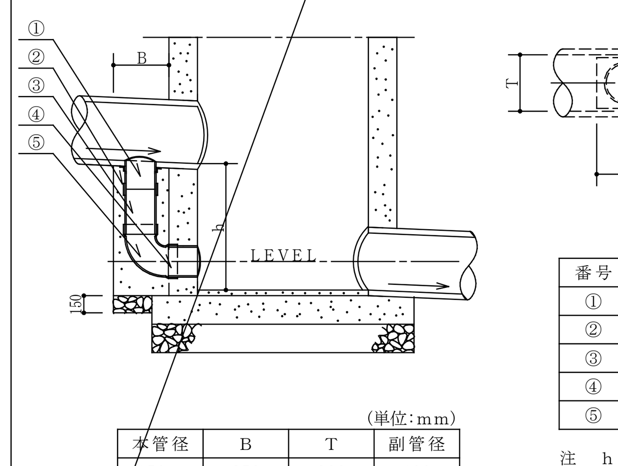
○屋外土中配管

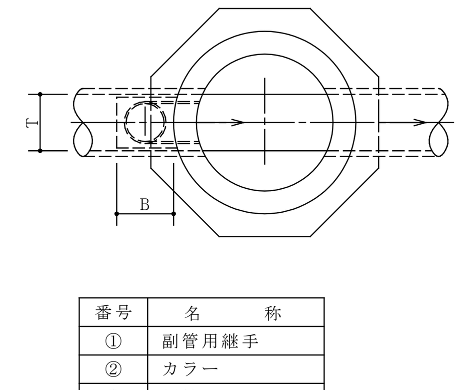
屋外土中埋設に使用する下水道用硬質塩化ビニル管の接合は、ゴム輪接合とし、施工方法は、JSWAS K-1（下水道用硬質塩化ビニル管）の参考資料による。
なお、マンホール副管及び呼び径150以下の配管については、接着接合としてもよい。
また、管をコンクリート造のます等に接続する場合には、マンホール継手を使用し、樹脂製接着剤又はモルタルを充填する。なお、硬質塩化ビニルますに接続する場合は、塩ビ管用接着剤により接合する。

○マンホール副管

副管は、流入管きょと流出管きょとの段差が0.6m以上の場合に設けることとし、その仕様は以下による。

（ａ）中間マンホール





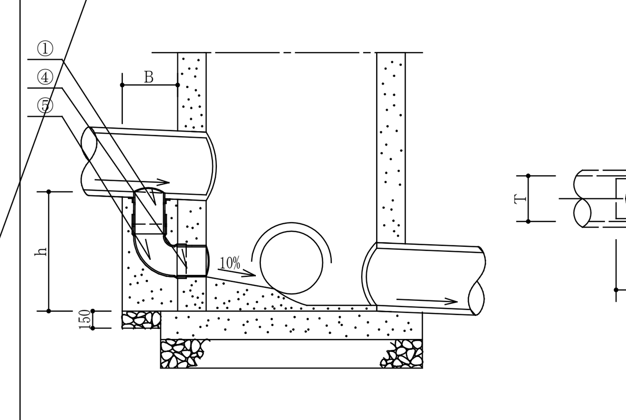
番号	名　称
①	副管用継手
②	カラー
③	短管
④	マンホール接続管
⑤	９０度曲管

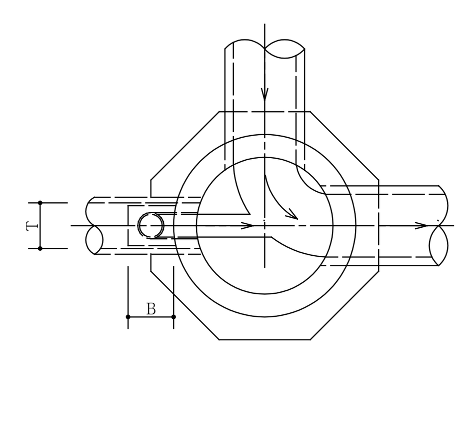
(単位:mm)

本管径	B	T	副管径
150φ	250	300	100
200φ	300	350	150

注　h寸法によっては、②③を除いて寸法調整を行っても良い。

（ｂ）会合マンホール用





(単位:mm)

本管径	B	T	副管径
150φ	250	300	100
200φ	300	350	150

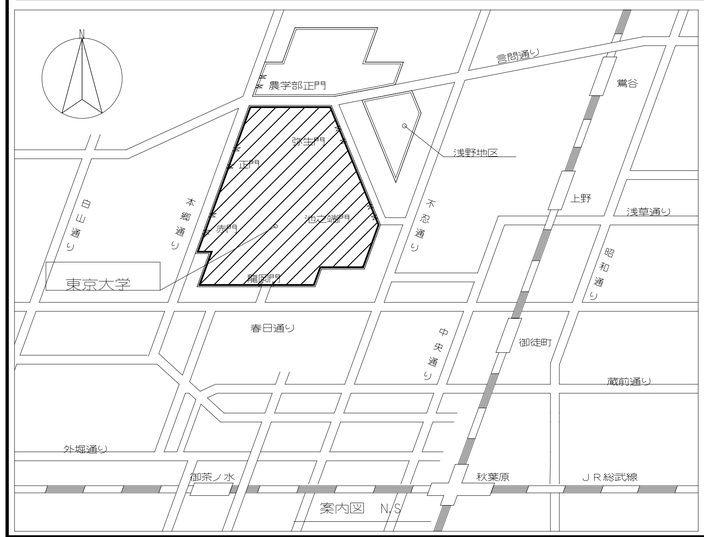
番号	名　称
①	副管用継手
④	マンホール接続管
⑤	９０度曲管

注　h寸法によっては、(a)中間マンホールの②③を用いて寸法調整をしても良い。

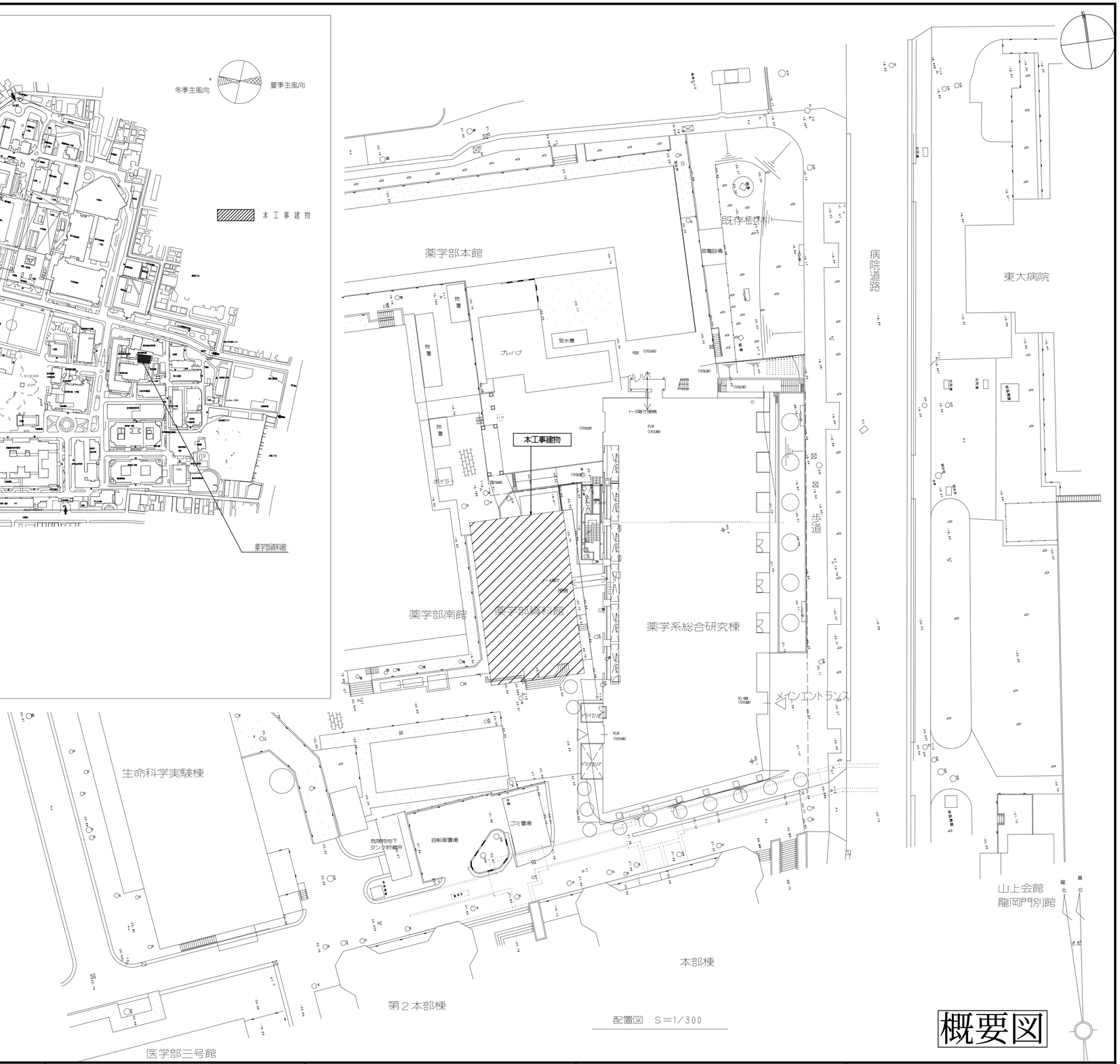
概要図

工事名称	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO	施設部長	保全課 見明	戸田	黒須	筋野
図面名称	機械設備　特記仕様書（２）	縮尺 A１：－ A３：－	年度 R８	図面番号 特M－002			

配置図　N.S



案内図　N.S



配置図　S＝1/300

概要図

特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 「施設部長」保全課 見明　戸田　黒須　筋野	
・			図面名称 案内図・全体配置図	作成年度 令和8年	縮　尺 1/300　A1 1/600　A3	図面番号 M － 002
・					
・					
・					
・					

1	機器表（1）	N.S

【新設】マルチパッケージ形空調機機器表

〈共通仕様〉

形式	空冷式パッケージ形空調機（高効率形 ：2015年省エネ基準値以上の高効率形とする）
能力表示	能力及び消費電力は、JIS B 8616で規定された定格条件による。
冷媒	R-410A
送風量	風量は強運転時、静圧は機外静圧（表中の値は参考とする。）
フィルター	メーカー標準品
付属品	室内機
	・共通 ：ワイヤードリモコン（個数は表参照 ） ・ドレンアップメカ・遠方操作用端子・ハンガー防振
	・カセット形 ：化粧パネル・ワイドパネル（隙間カバー用）
	室外機
	・保護網 ・スプリング防振架台
集中リモコン	タッチパネルタイプ（1φ100V）×1台
	・集中リモコン機能：ON/OFF操作・冷暖切替・温度設定・スケジュール管理（グループ単位管理）

〈特記事項〉

(1) 集中リモコン用インターフェース組込みとする。
(2) フィルターの予備品は、100%を見込むものとする。
(3) 電源周波数は 50Hz とする。
(4) 電源容量は参考値とする。

リモコン系統

番号	系統名	設置室
①	資料館	2階事務室

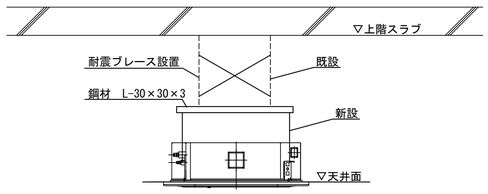
室外機

機器番号	名称（系統）	冷暖房形式 切替	冷暖房形式 同時	冷暖房形式 冷専	冷房能力 kW	暖房能力 kW	電源容量 相	電源容量 V	電源容量 圧縮機 kW	電源容量 送風機 kW	電源容量 冷房定格消費電力 kW	電源容量 暖房定格消費電力 kW	台数	設置場所 階	設置場所	備考
	【ビル用マルチ更新用】															
ACP-1	更新用空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			28.0	31.5	3	200	7.49	0.46	9.30	8.84	1	R	室外機置場	
	(1階系統)															
ACP-2	更新用空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			14.0	16.0	3	200	3.81	0.35	3.60	4.81	1	R	室外機置場	
	(2階系統)															
ACP-3	更新用空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			22.4	25.0	3	200	5.12	0.35	6.32	6.21	1	R	室外機置場	
	(2階資料館系統)															
ACP-4	更新用空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			28.0	31.5	3	200	7.49	0.46	9.30	8.84	1	R	室外機置場	
	(3階系統)															
ACP-5	更新用空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			22.4	25.0	3	200	5.12	0.35	6.32	6.21	1	R	室外機置場	
	(研究者用閲覧室系統)															
ACP-6	更新用空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			22.4	25.0	3	200	5.12	0.35	6.32	6.21	1	R	室外機置場	
	(4階資料展示室系統)															

室内機

機器番号	形式	冷房能力 kW	暖房能力 kW	送風機 送風量 (m3/h)	送風機 機外静圧 Pa	送風機 電気容量 相	送風機 電気容量 V	送風機 電気容量 kW	集中リモコン	台数	室内リモコン個数	系統 階	系統 室名	備考
ACP-1-1	カセット形(2方向)	7.1	8.0	-	-	1	200	0.05	①	4	2	1	エントランスホール	
ACP-2-1	カセット形(2方向)	4.5	5.0	-	-	1	200	0.05	①	2	1	2	事務所	
ACP-3-1	カセット形(2方向)	4.5	5.0	-	-	1	200	0.05	①	5	1	2	2階資料閲覧室	
ACP-4-1	カセット形(2方向)	4.5	5.0	-	-	1	200	0.05	①	7	2	3	3階資料展示コーナー	
ACP-5-1	カセット形(2方向)	2.8	3.2	-	-	1	200	0.05	①	1	1	4	研究者用閲覧室(1)	
ACP-5-2	カセット形(2方向)	2.8	3.2	-	-	1	200	0.05	①	1	1	4	研究者用閲覧室(2)	
ACP-5-3	カセット形(2方向)	2.8	3.2	-	-	1	200	0.05	①	1	1	4	研究者用閲覧室(3)	
ACP-5-4	カセット形(2方向)	4.5	5.0	-	-	1	200	0.05	①	2	1	4	端末室	
ACP-6-1	カセット形(2方向)	4.5	5.0	-	-	1	200	0.05	①	3	1	4	資料展示室	
ACP-6-2	カセット形(2方向)	2.8	3.2	-	-	1	200	0.05	①	1	-	4	廊下(EV前)	
ACP-6-3	カセット形(2方向)	2.8	3.2	-	-	1	200	0.05	①	2	1	4	特別閲覧室	

機器耐震支持要領図



・既存に耐震ブレースを追加。
機器吊り寸法に合わせ鋼材を追加。
※機器類（空調機器、換気機器）共通とする。

概要図

特記事項

訂	正
・	
・	
・	
・	
・	

テクノ工営 一級建築士事務所

業務名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務

工事名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事

図面名称：空気調和設備 機器表（1）

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

施設部長 保全課 見明 戸田 黒須 筋野

作成年度	縮尺	図面番号
令和8年	N.S A1 N.S A3	M － 101

1	機器表（2）	N.S

【新設】全熱交換器ユニット

〈特記事項〉

(1)全熱交換効率は、JIS B 8628に規定された試験方法による。
(2)機器は特記なき限り低騒音仕様とする。
(3)特記なき交換効率は、60%以上(エンタルピー基準)とする。
(4)コントロールスイッチは、マイコンタイプとする。
(特記なきは、1台に対し1個付属)
(5)処理風量は、強ノッチ時とする。
(6)特記なきは、防振吊(防振ゴム)とする。
(7)フィルターの予備品は、100%を見込むものとする。
(8)電源容量(消費電力)および静圧は、参考値とする。
(9)24時間換気対応機器のスイッチには、常時運転を指示する 注意書きを貼付ける。
(10)電源周波数は 50Hz とする。

〈共通仕様〉 集中リモコン タッチパネルタイプ(1φ100V)×1組
*集中リモコン機能
・ON/OFF操作

番号	系統名	設置室	台
1	資料館	2F事務室	1

機器番号	名称（系統）	形式	仕様 処理風量 [m3/h]	仕様 静圧 [Pa]	仕様 交換効率 [%]	電源容量 φ	電源容量 V	電源容量 KW	起動方式	集中リモコン系統	発電機電源	防振装置	台数	個別リモコン	設置場所 階	設置場所 設置室	備考
HEX-1	全熱交換器ユニット	天吊埋込形	270	59	70	1	100	0.15	直入	①	—	ハンガー	3	3	1	エントランスホール	
HEX-2	全熱交換器ユニット	天吊埋込形	160	49	74	1	100	0.12	直入	①	—	ハンガー	1	1	2	2階ロビー	
HEX-3	全熱交換器ユニット	天吊埋込形	270	49	70	1	200	0.15	直入	①	—	ハンガー	3	3	2	資料閲覧室	
HEX-4	全熱交換器ユニット	天吊埋込形	270	49	70	1	200	0.15	直入	①	—	ハンガー	3	3	3	参考資料収蔵庫	
HEX-5	全熱交換器ユニット	天吊埋込形	260	49	70	1	100	0.15	直入	①	—	ハンガー	1	1	4	参考資料室	
HEX-6	全熱交換器ユニット	天井カセット形	80	49	74	1	100	0.06	直入	①	—	ハンガー	1	1	4	研究者用閲覧室(1)	
HEX-7	全熱交換器ユニット	天井カセット形	20	49	74	1	100	0.06	直入	①	—	ハンガー	2	2	4	研究者用閲覧室(2)(3)	
HEX-8	全熱交換器ユニット	天吊埋込形	300	49	70	1	100	0.15	直入	①	—	ハンガー	2	2	4	資料展示室	
HEX-9	全熱交換器ユニット	天吊埋込形	200	59	74	1	100	0.12	直入	①	—	ハンガー	1	1	4	特別閲覧室	

【既存】送排風機・排煙機

・既存再利用とする。

機器番号	名称（系統）	形式	仕様 番手 No.	仕様 風量 [m3/h]	仕様 静圧 [Pa]	電源容量 φ	電源容量 V	電源容量 KW	起動方式	発電機電源	設置方法	防振装置	台数	設置場所 階	設置場所 設置室	備考
【既存】																
F-1	排気ファン	天井扇		270	10	1	100	0.04	直入	—	天吊	防振吊	4	1	便所内	
F-2	排気ファン	天井扇		290	11	1	100	0.05	直入	—	天吊	防振吊	1	2	ラウンジ	
F-3	排気ファン	天井扇		220	9	1	100	0.03	直入	—	天吊	温度スイッチ	1	2	休憩室	
F-4	排気ファン	有圧扇		1,000	5	1	100	0.05	直入	—	天吊	防振吊	1	5	ELV機械室	
F-5	排気ファン	天吊型		1,060	23	1	100	0.40	直入	—	天吊	防振吊	1	5	保存書庫	

概要図

特記事項

訂	正
・	
・	
・	
・	
・	

テクノ工営 一級建築士事務所

業務名称
東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務

工事名称
東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事

図面名称
空気調和設備 機器表（2）

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

施設部長 保全課
見明 戸田 黒須 筋野

作成年度 令和8年

縮尺 N.S A1 N.S A3

図面番号 M - 102

1	1階平面図	1／100

【改修概要】

- ■ 図示する全熱交換器の新設とするダクトは、原則機器より0.5mの範囲の更新とする。
- ■ 機器更新に伴う天井解体、復旧は本工事とする。
- ■ リモコンは更新とし、配線は再利用とする。

NS：手元リモコン

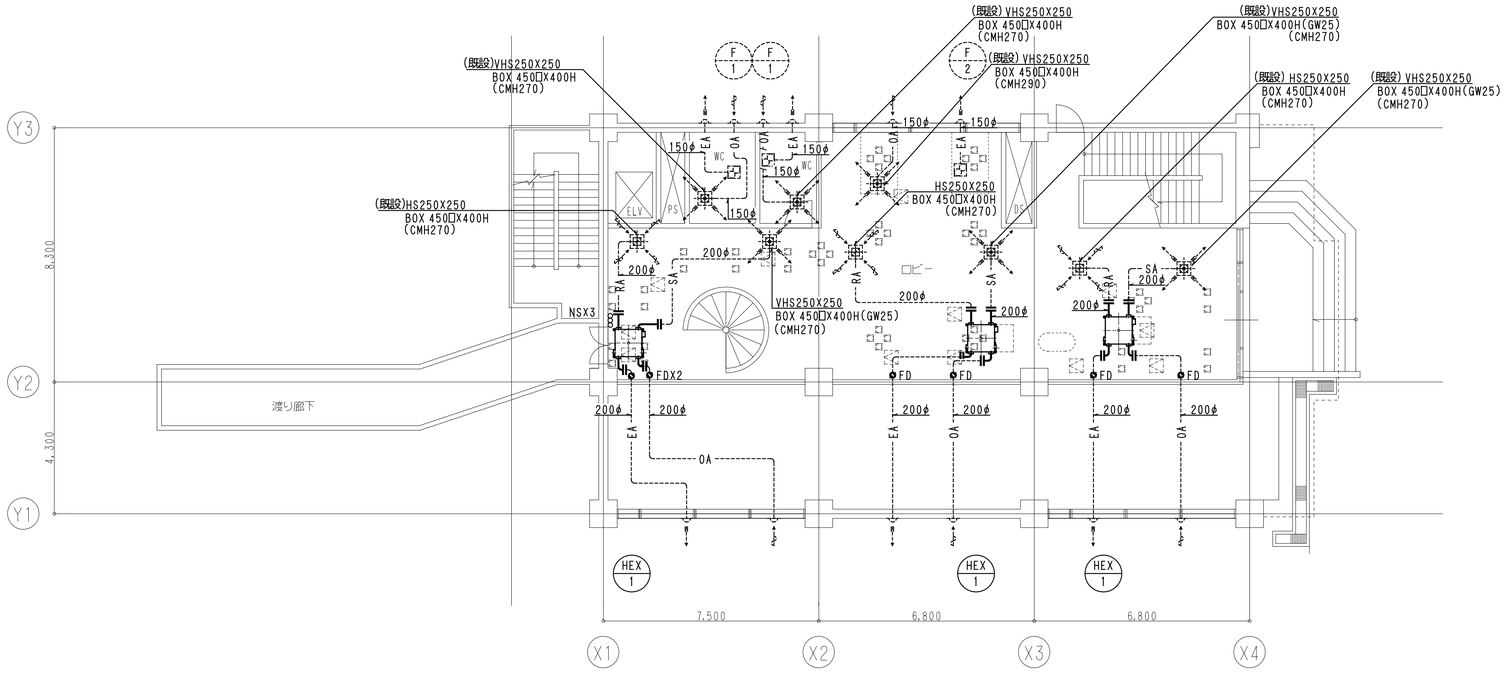
凡 例

————	新設機器・配管類
- - - - - - - -	既設機器・配管類
- - - -‖————	取合い部分

凡 例

記 号	名 称	材 質
——OA——	外気ダクト	特記仕様書による。
——EA——	排気ダクト	〃
——SA——	給気ダクト（全熱交2次側）	〃
——RA——	還気ダクト（全熱交2次側）	

※更新するダクトはフレキシブルダクト（断熱材付）でも可とする。



概要図

特記事項		テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂 正			東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 The University of Tokyo	見明 戸田	黒須 筋野
・				図面名称	作成年度	縮 尺	図面番号
・				空気調和設備 1階ダクト平面図	令和8年	1/100 A1 1/200 A3	M － 201
・							
・							

1	2階平面図	1／100

【改修概要】

- ■ 図示する全熱交換器の新設とするダクトは、原則機器より0.5mの範囲の更新とする。
- ■ 機器更新に伴う天井解体、復旧は本工事とする。
- ■ リモコンは更新とし、配線は再利用とする。

NS：手元リモコン

凡 例

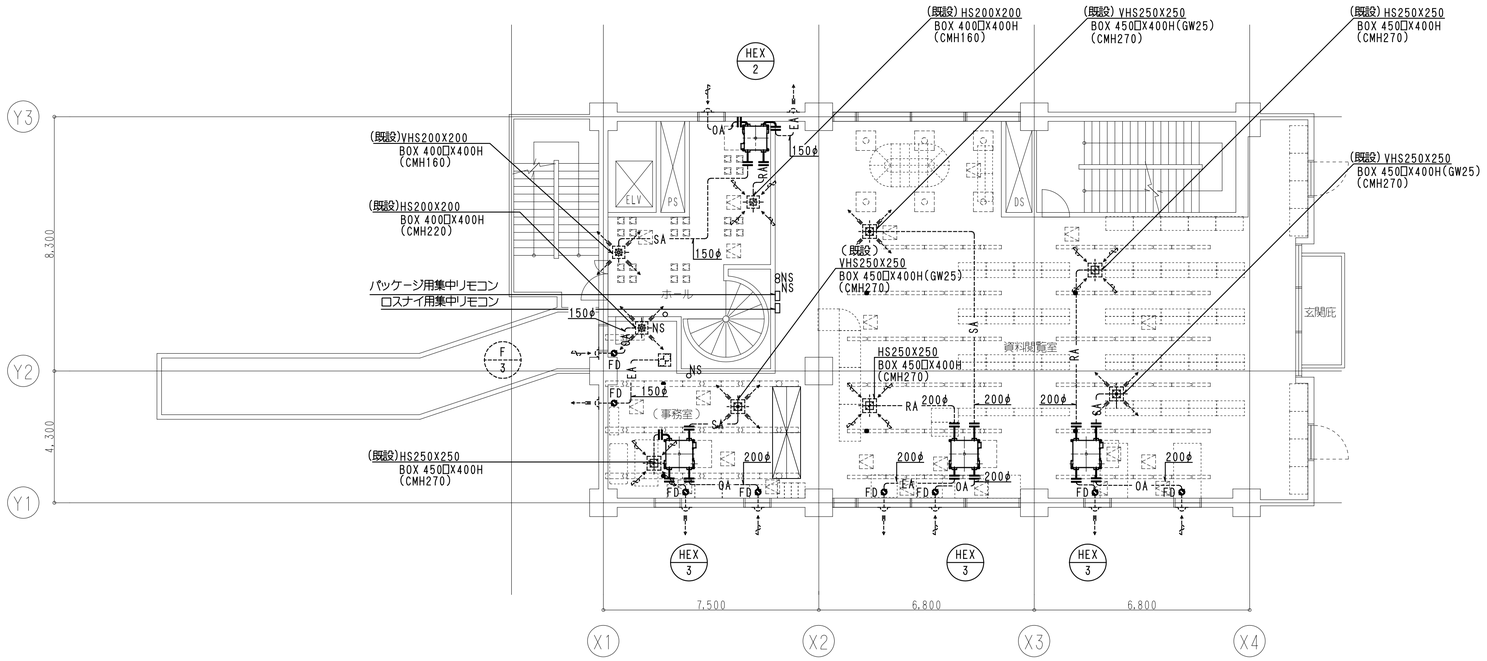
————	新設機器・配管類
- - - - - - - -	既設機器・配管類
- - - - -‖————	取合い部分

凡 例

記 号	名 称	材 質
——OA——	外気ダクト	特記仕様書による。
——EA——	排気ダクト	〃
——SA——	給気ダクト（全熱交2次側）	〃
——RA——	還気ダクト（全熱交2次側）	

※更新するダクトはフレキシブルダクト（断熱材付）でも可とする。

N



概要図

特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO	見明 戸田	黒須 筋野
・			図面名称	作成年度	縮 尺	図面番号
・			空気調和設備 2階ダクト平面図	令和8年	1/100 A1 1/200 A3	M － 202
・						
・						
・						

1	3階平面図	1／100

【改修概要】

- ■ 図示する全熱交換器の新設とするダクトは、原則機器より0.5mの範囲の更新とする。
- ■ 機器更新に伴う天井解体、復旧は本工事とする。
- ■ リモコンは更新とし、配線は再利用とする。

NS：手元リモコン

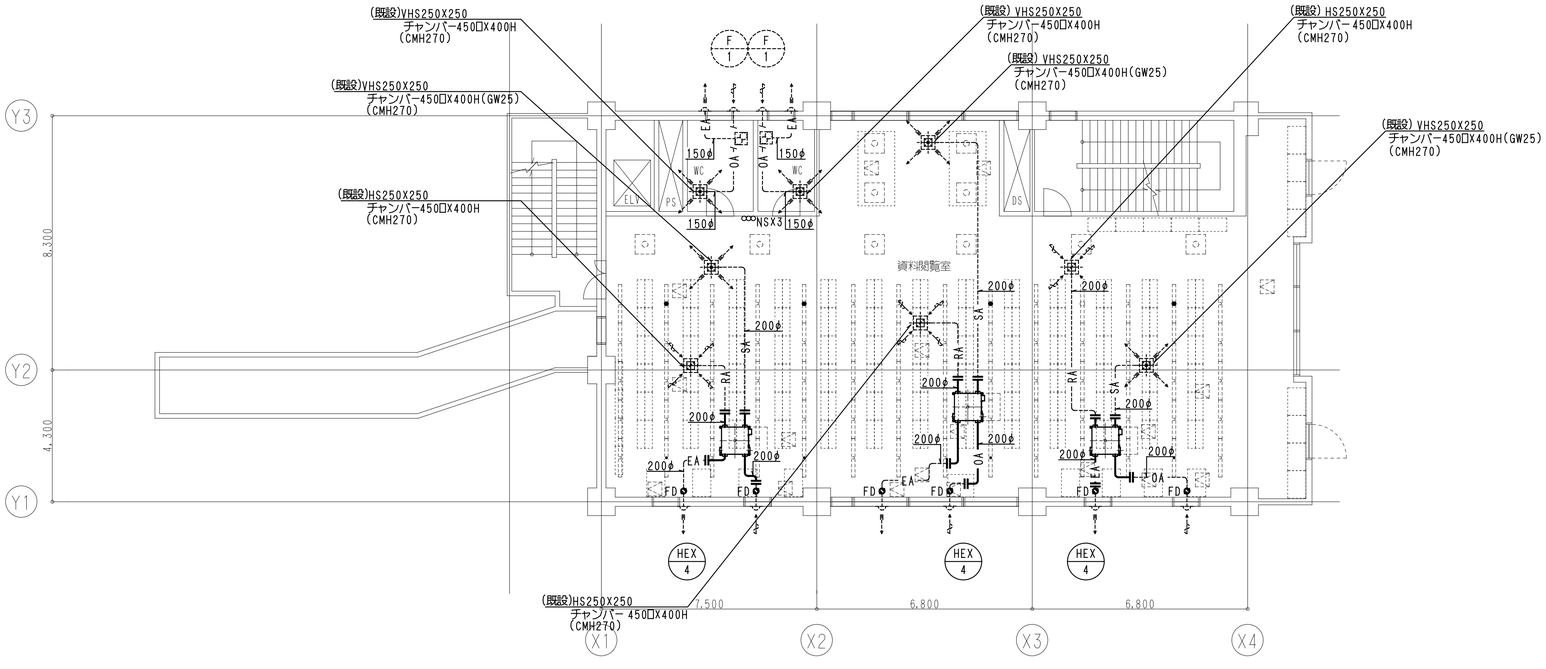
凡 例

————	新設機器・配管類
- - - - - - - -	既設機器・配管類
- - - -‖- - - -	取合い部分

凡 例

記 号	名 称	材 質
——OA——	外気ダクト	特記仕様書による。
——EA——	排気ダクト	〃
——SA——	給気ダクト（全熱交2次側）	〃
——RA——	還気ダクト（全熱交2次側）	

※更新するダクトはフレキシブルダクト（断熱材付）でも可とする。



概要図

特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 The University of Tokyo	見明 戸田	黒須 筋野
			図面名称 空気調和設備 3階ダクト平面図	作成年度 令和8年	縮 尺 1/100 A1 1/200 A3	図面番号 M -203

1	4階平面図	1／100

【改修概要】

- ■ 図示する全熱交換器の新設とするダクトは、原則機器より0.5mの範囲の更新とする。
- ■ 機器更新に伴う天井解体、復旧は本工事とする。
- ■ リモコンは更新とし、配線は再利用とする。

NS：手元リモコン

凡 例

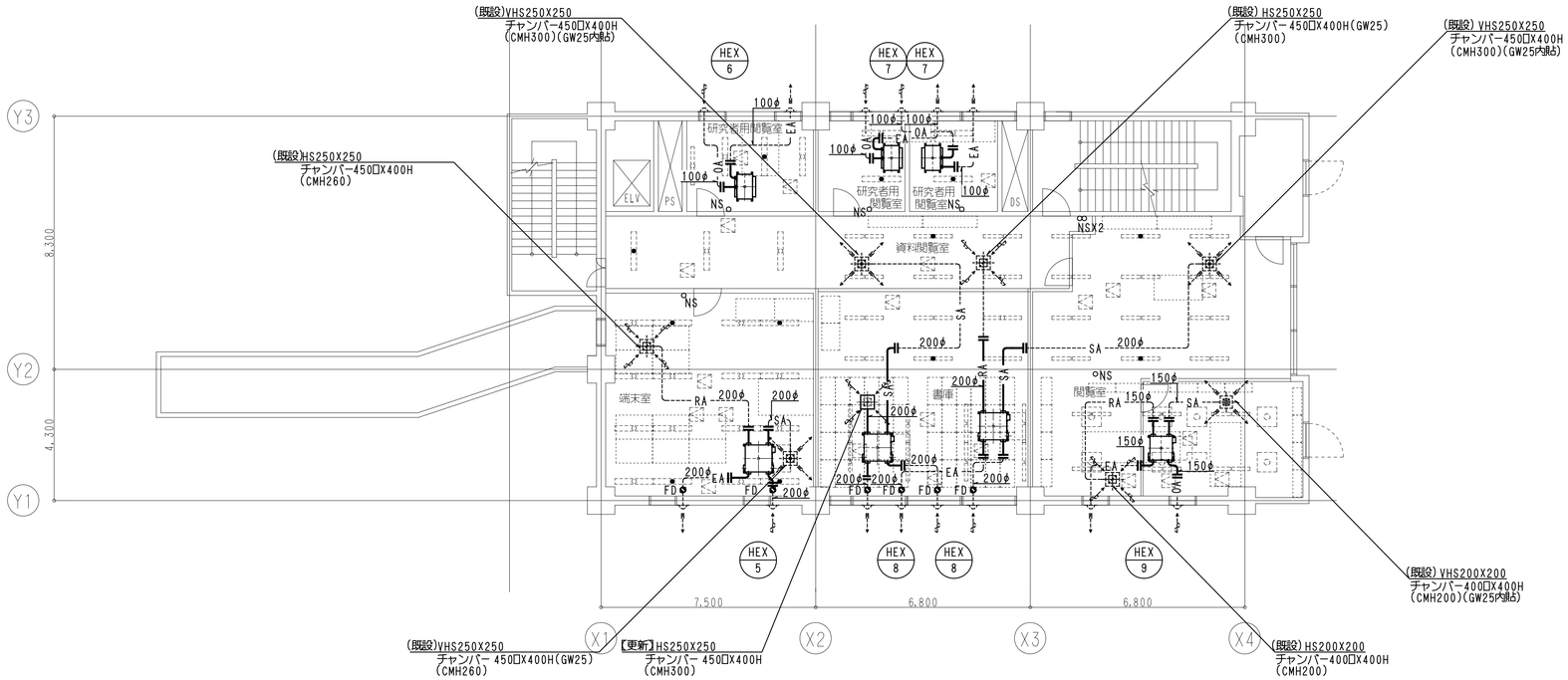
————	新設機器・配管類
- - - - - - - -	既設機器・配管類
- - - - -‖————	取合い部分

凡 例

記 号	名 称	材 質
——OA——	外気ダクト	特記仕様書による。
——EA——	排気ダクト	〃
——SA——	給気ダクト（全熱交2次側）	〃
——RA——	還気ダクト（全熱交2次側）	

※更新するダクトはフレキシブルダクト（断熱材付）でも可とする。

N



概要図

特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO	見明 戸田	黒須 筋野
・			図面名称	作成年度	縮 尺	図面番号
・			空気調和設備 4階ダクト平面図	令和8年	1/100 A1 1/200 A3	M － 204
・						
・						

1	5階平面図	1／100

【改修概要】

■ 改修なし。参考図とする。

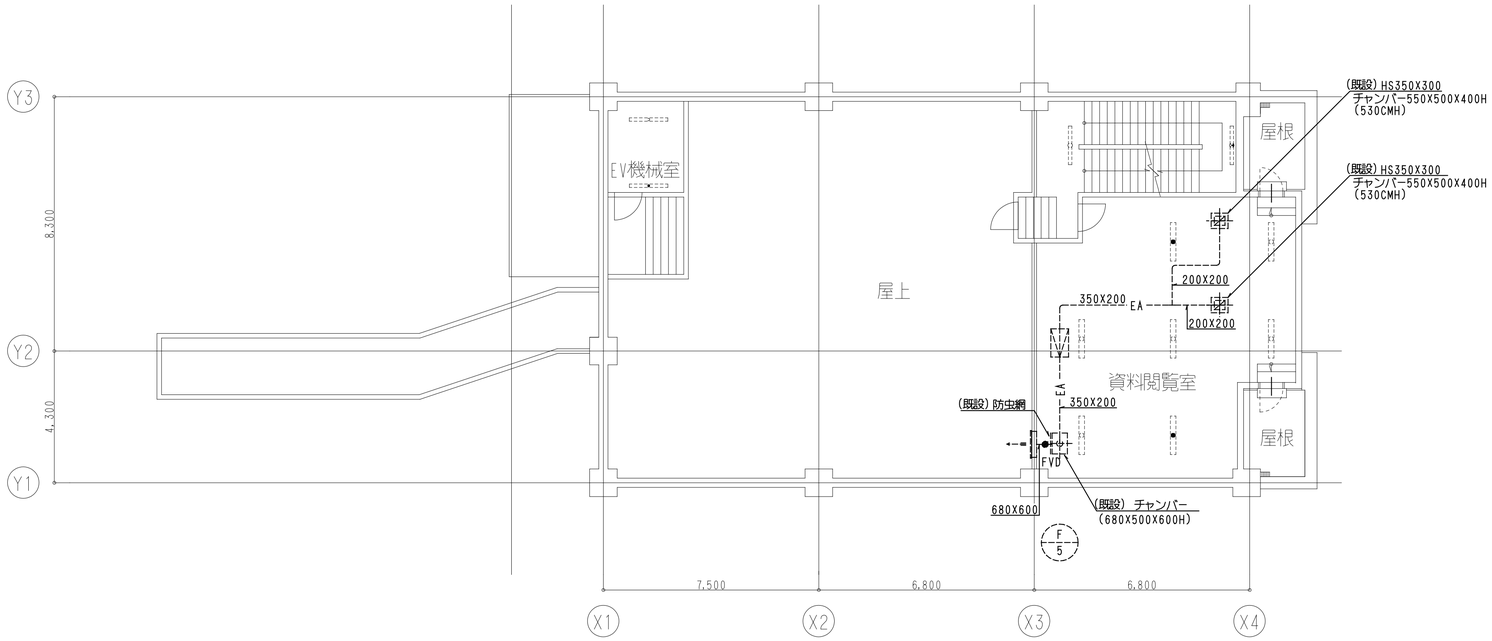
凡 例

――――	新設機器・配管類
- - - - - -	既設機器・配管類
- - - -‖――	取合い部分

凡 例

記 号	名 称	材 質
―― OA ――	外気ダクト	特記仕様書による。
―― EA ――	排気ダクト	〃
―― SA ――	給気ダクト（全熱交2次側）	〃
―― RA ――	還気ダクト（全熱交2次側）	

※更新するダクトはフレキシブルダクト（断熱材付）でも可とする。



概要図

特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課
訂 正		東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 見明 戸田 黒須 筋野
・	テクノ工営 一級建築士事務所		図面名称 空気調和設備 5階ダクト平面図	作成年度 令和8年 / 縮 尺 1/100 A1 1/200 A3 / 図面番号 M － 205

1	空調設備　系統図	―

【改修概要】

■ 空調機(室内外機)の更新とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲の更新とする。

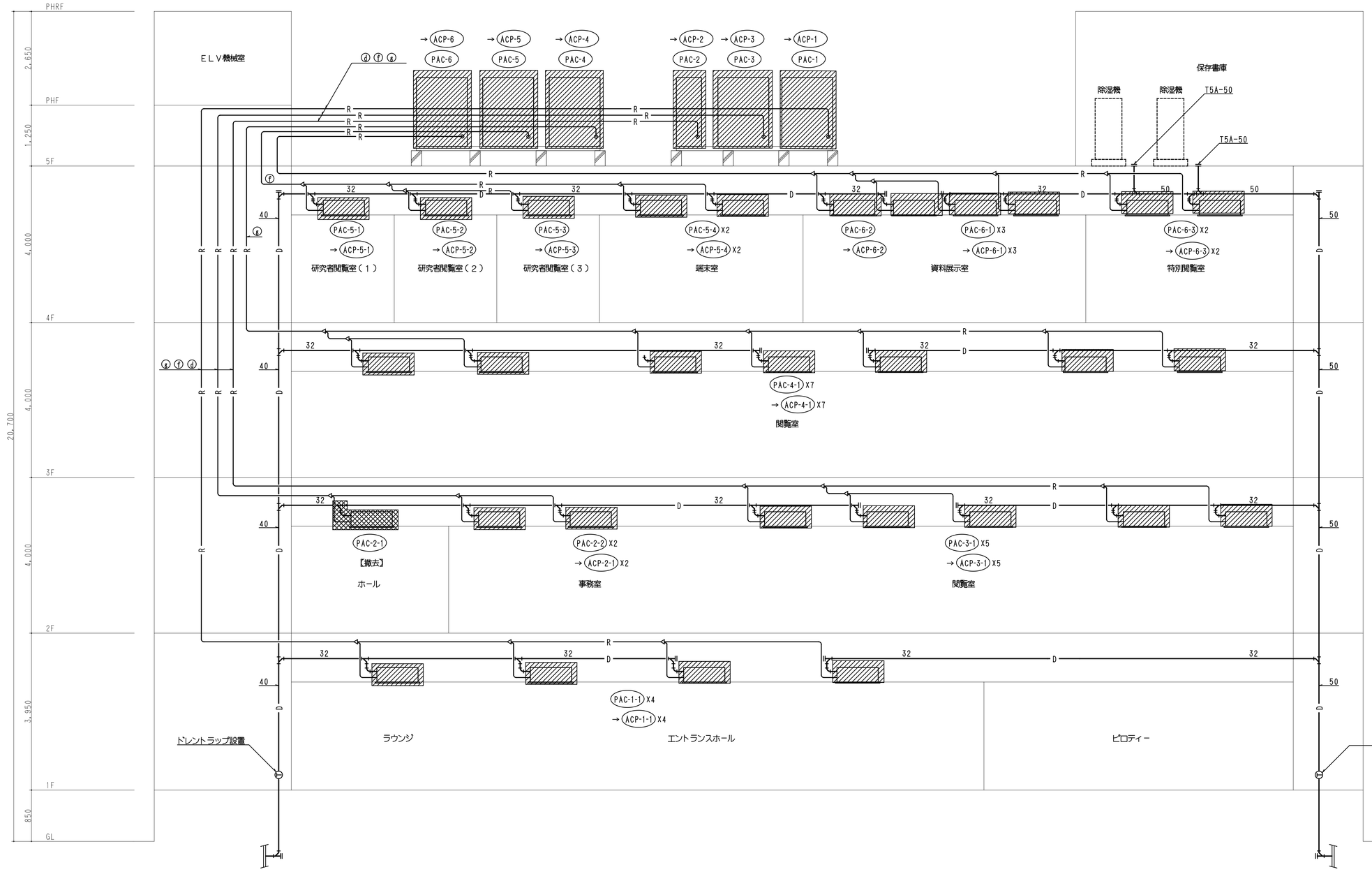
■ 凡例は下記とする。

:撤去・更新　:撤去

注)Ⓣはドレンラップを示す

冷媒管サイズ表

番号	冷媒配管		室内機・室外機　連絡電線
	液管	ガス管	(冷媒管共巻き)
ⓐ	6.35φ	9.52φ	CVV 2P-2C
ⓑ	6.35φ	12.7φ	〃
ⓒ	9.52φ	15.88φ	〃
ⓓ	9.52φ	19.05φ	〃
ⓔ	9.52φ	25.4φ	〃
ⓕ	12.7φ	25.4φ	〃
ⓖ	12.7φ	28.58φ	〃



概要図

特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO	見明 戸田	黒須 筋野
			図面名称 空気調和設備　配管系統図	作成年度 令和8年	縮　尺 N.S A1 N.S A3	図面番号 M － 301

1	1階平面図	1／100

【改修概要】

- ■ 図示する空調機の新設とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲の更新とする。
- ■ 機械更新に伴う天井解体・復旧は本工事とする。
- ■ リモコンは更新とし、配線は再利用とする。

RS：手元リモコン

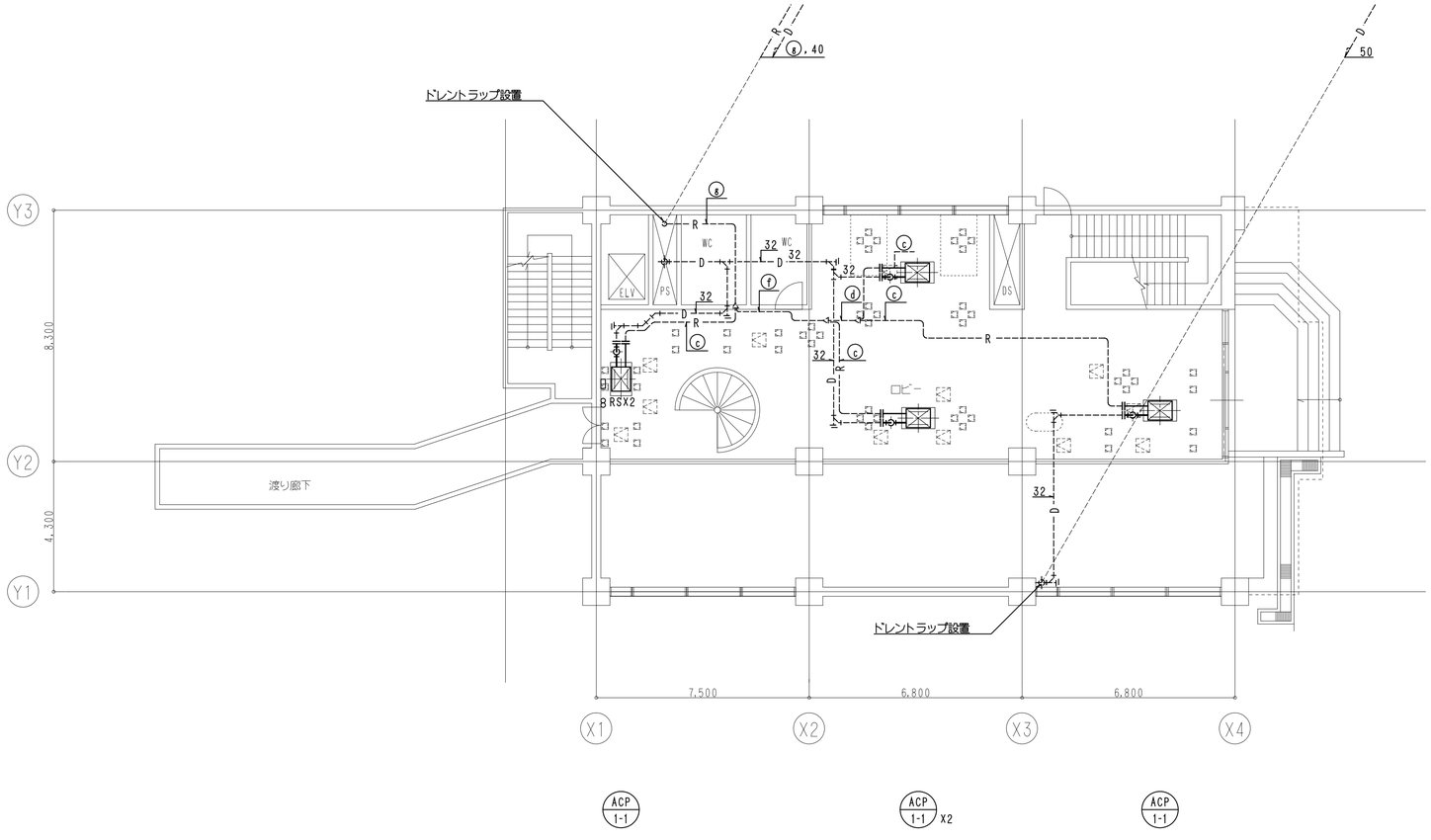
凡 例

————	新設機器・配管類
- - - - - -	既設機器・配管類

凡 例

記 号	名 称	材 質
——R——	冷媒管	特記仕様書による。
——D——	ドレン管	〃
——Ⓣ——	ドレントラップ	

N



概要図

冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
ⓐ	6.35φ	9.52φ
ⓑ	6.35φ	12.7φ
ⓒ	9.52φ	15.88φ
ⓓ	9.52φ	19.05φ
ⓔ	9.52φ	25.4φ
ⓕ	12.7φ	25.4φ
ⓖ	12.7φ	28.58φ

特記事項					
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 施設部長 保全課 見明 戸田 黒須 筋野	
			図面名称：空気調和設備 1階配管平面図	作成年度：令和8年	縮 尺：1/100 A1 1/200 A3	図面番号：M － 302

1	2階平面図	1／100

【改修概要】

- ■ 図示する空調機の新設とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲の更新とする。
- ■ 機械更新に伴う天井解体・復旧は本工事とする。
- ■ リモコンは更新とし、配線は再利用とする。

RS：手元リモコン

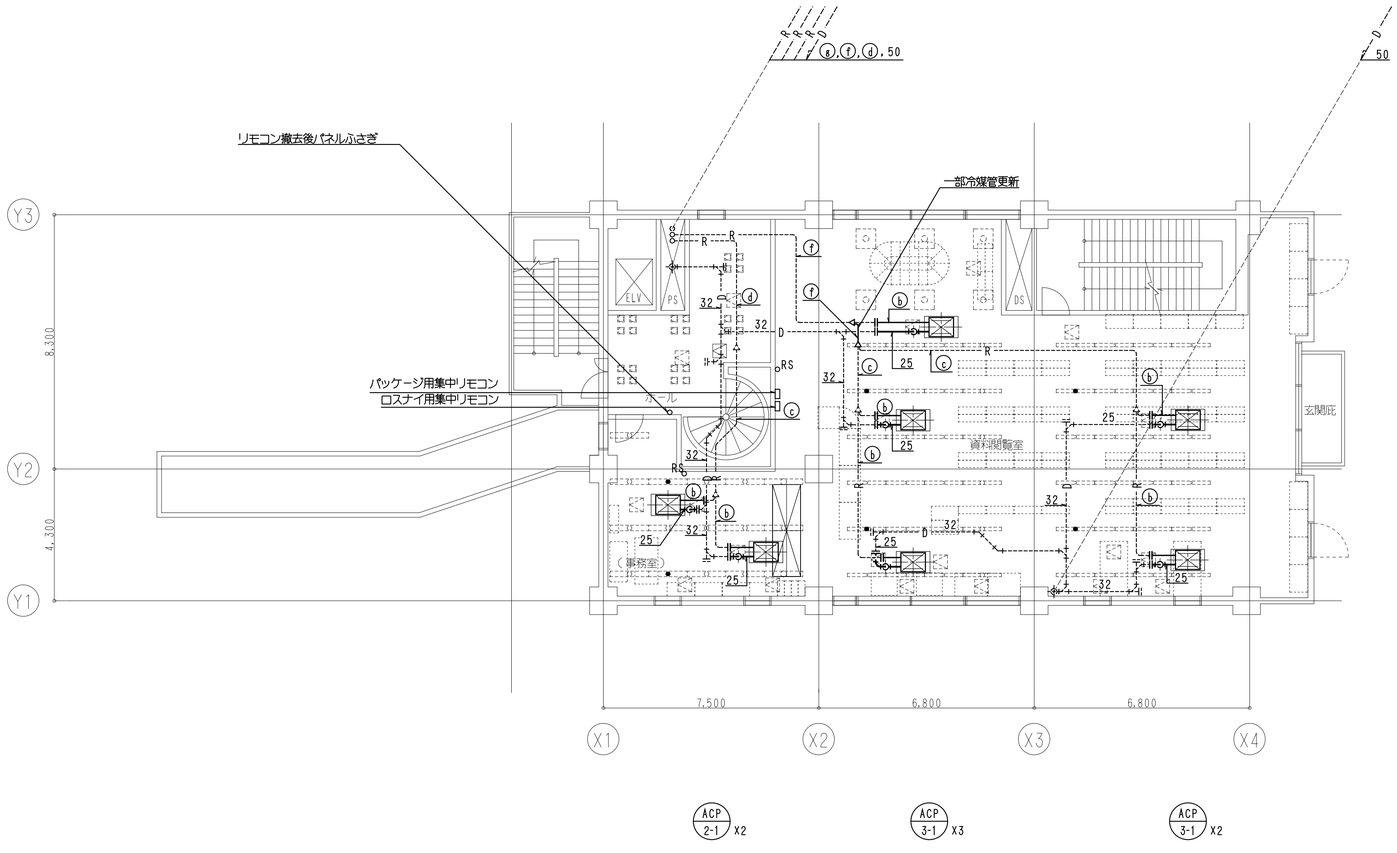
凡 例

————	新設機器・配管類
- - - - - - - -	既設機器・配管類

凡 例

記 号	名 称	材 質
——R——	冷媒管	特記仕様書による。
——D——	ドレン管	〃
——Ⓣ——	ドレントラップ	

N



概要図

冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
ⓐ	6.35φ	9.52φ
ⓑ	6.35φ	12.7φ
ⓒ	9.52φ	15.88φ
ⓓ	9.52φ	19.05φ
ⓔ	9.52φ	25.4φ
ⓕ	12.7φ	25.4φ
ⓖ	12.7φ	28.58φ

特記事項

訂 正

テクノ工営 一級建築士事務所

業務名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務

工事名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事

図面名称：空気調和設備　２階配管平面図

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

施設部長 保全課

見明 戸田 黒須 筋野

作成年度：令和8年

縮尺：1/100 A1　1/200 A3

図面番号：M － 303

1	3階平面図	1／100

【改修概要】

- ■ 図示する空調機の新設とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲の更新とする。
- ■ 機械更新に伴う天井解体・復旧は本工事とする。
- ■ リモコンは更新とし、配線は再利用とする。

RS：手元リモコン

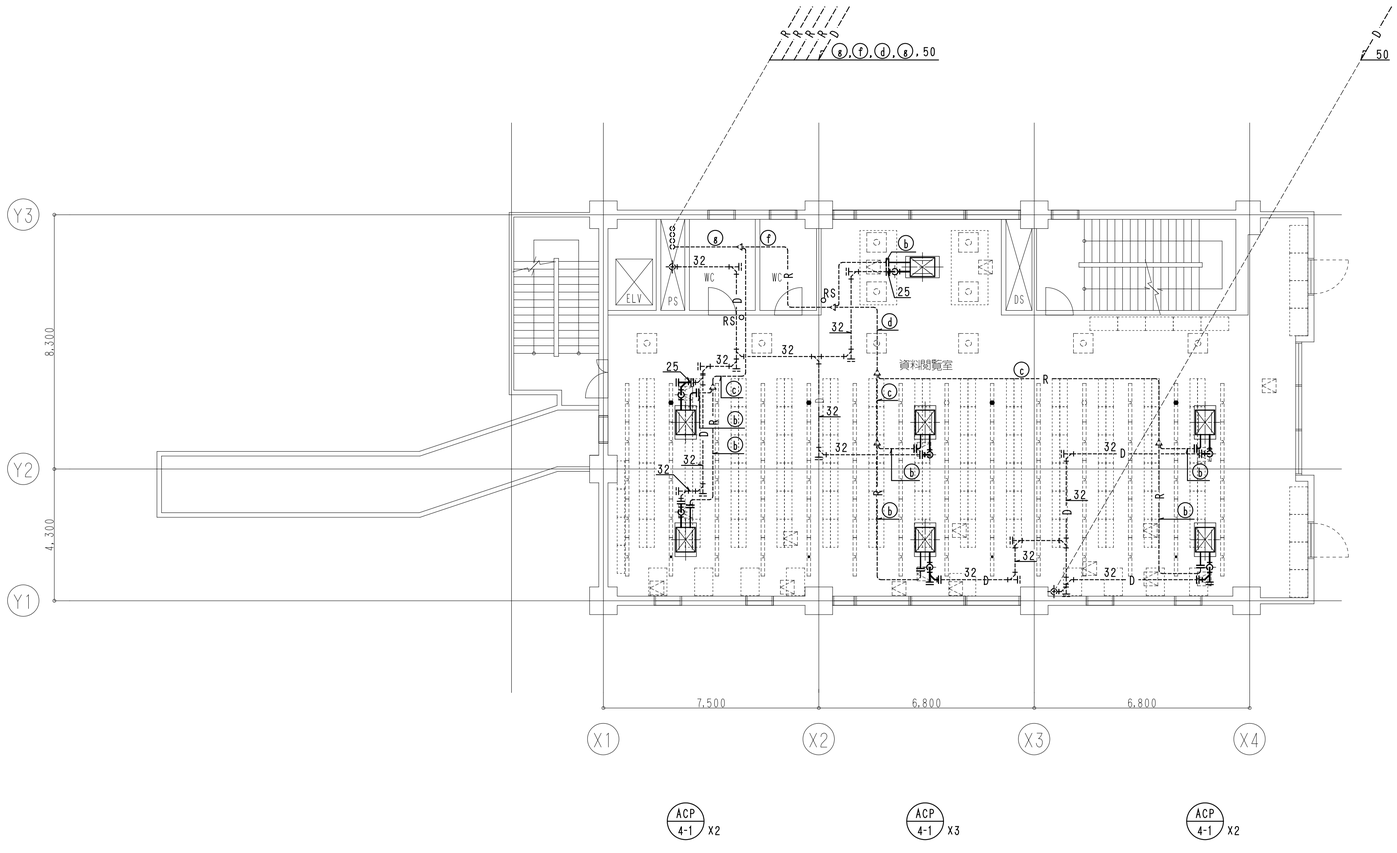
凡 例

————	新設機器・配管類
- - - - - - - -	既設機器・配管類

凡 例

記 号	名 称	材 質
——R——	冷媒管	特記仕様書による。
——D——	ドレン管	〃
——Ⓣ——	ドレントラップ	

N



概要図

冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
ⓐ	6.35φ	9.52φ
ⓑ	6.35φ	12.7φ
ⓒ	9.52φ	15.88φ
ⓓ	9.52φ	19.05φ
ⓔ	9.52φ	25.4φ
ⓕ	12.7φ	25.4φ
ⓖ	12.7φ	28.58φ

特記事項

訂 正	
・	
・	
・	
・	
・	

テクノ工営 一級建築士事務所

業務名称	工事名称	施設部長 保全課
東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 The University of Tokyo　見明　戸田　黒須　筋野
	図面名称：空気調和設備　３階配管平面図	作成年度：令和8年 / 縮尺：1/100 A1, 1/200 A3 / 図面番号：M － 304

1	4階平面図	1／100

【改修概要】

- ■ 図示する空調機の新設とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲の更新とする。
- ■ 機械更新に伴う天井解体・復旧は本工事とする。
- ■ リモコンは更新とし、配線は再利用とする。

RS：手元リモコン

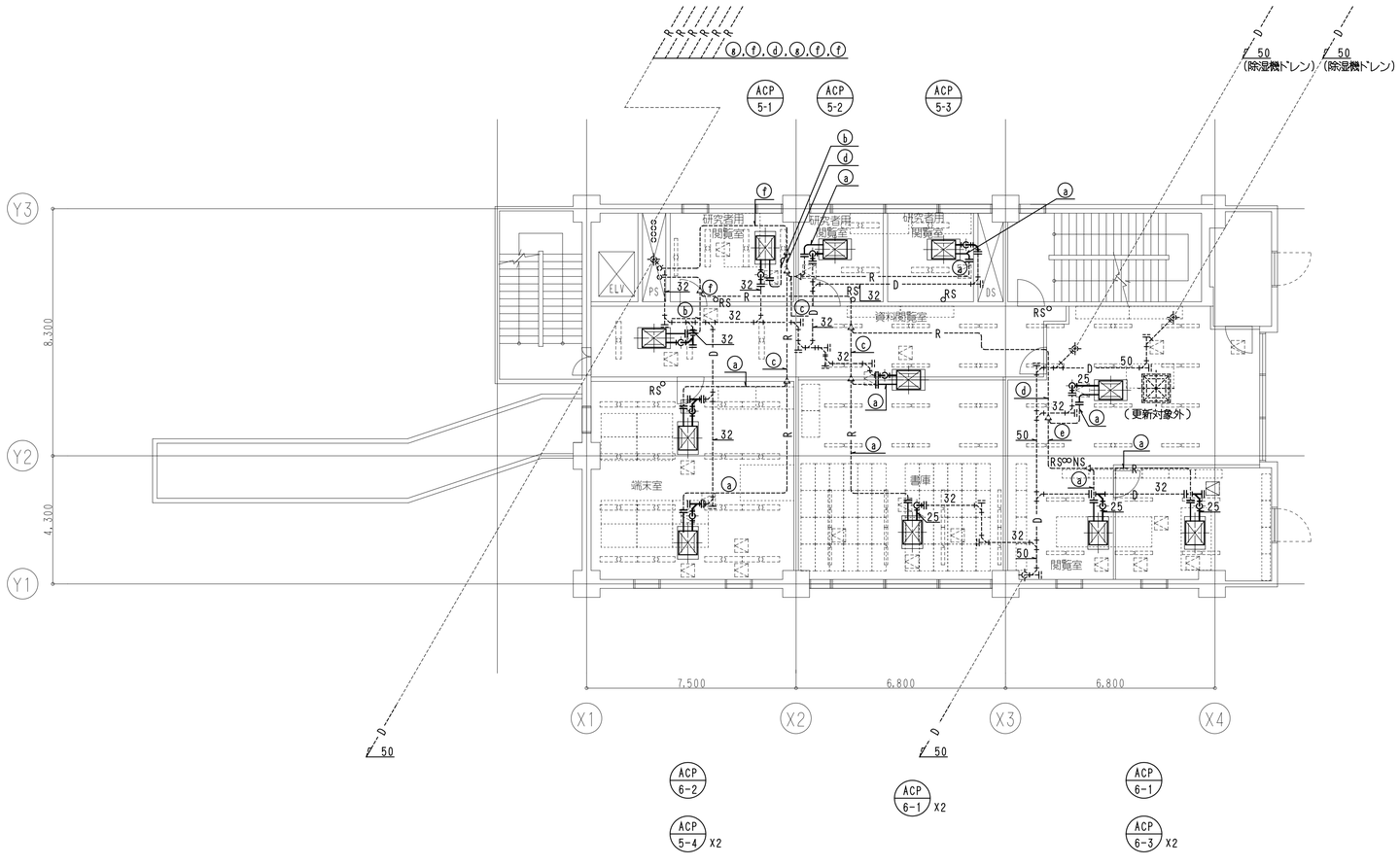
凡 例

————	新設機器・配管類
- - - - - - - -	既設機器・配管類

凡 例

記 号	名 称	材 質
——R——	冷媒管	特記仕様書による。
——D——	ドレン管	〃
——Ⓣ——	ドレントラップ	

N



概要図

冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
ⓐ	6.35φ	9.52φ
ⓑ	6.35φ	12.7φ
ⓒ	9.52φ	15.88φ
ⓓ	9.52φ	19.05φ
ⓔ	9.52φ	25.4φ
ⓕ	12.7φ	25.4φ
ⓖ	12.7φ	28.58φ

特記事項					
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課：東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 見明 戸田 黒須 筋野	
			図面名称：空気調和設備 4階配管平面図	作成年度：令和8年	縮尺：1/100 A1 1/200 A3	図面番号：M－305

1	5階平面図	1／100

【改修概要】

- ■ 図示する空調機の新設とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲の更新とする。
- ■ 機械更新に伴う天井解体・復旧は本工事とする。
- ■ リモコンは更新とし、配線は再利用とする。

RS：手元リモコン

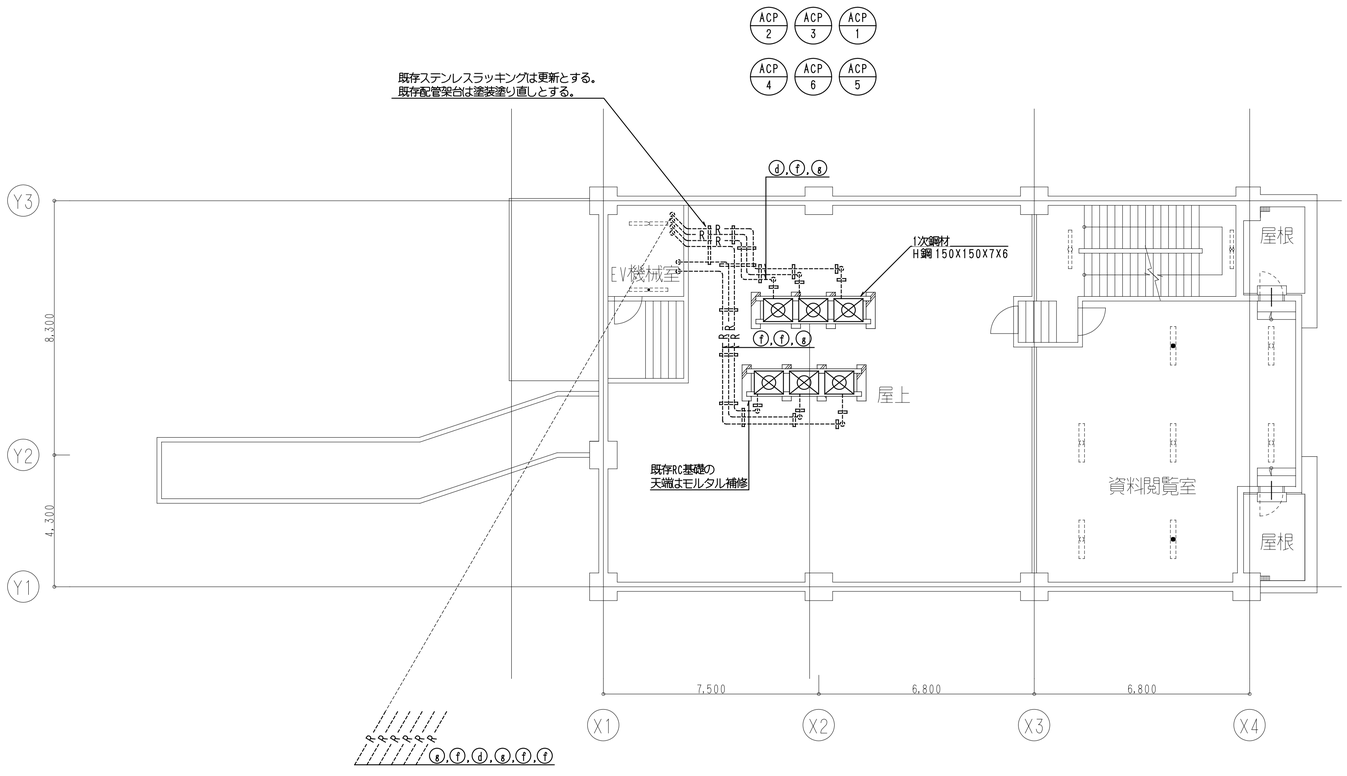
凡 例

————	新設機器・配管類
- - - - - - - -	既設機器・配管類

凡 例

記 号	名 称	材 質
——R——	冷媒管	特記仕様書による。
——D——	ドレン管	〃
——Ⓣ——	ドレントラップ	

N



概要図

冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
ⓐ	6.35φ	9.52φ
ⓑ	6.35φ	12.7φ
ⓒ	9.52φ	15.88φ
ⓓ	9.52φ	19.05φ
ⓔ	9.52φ	25.4φ
ⓕ	12.7φ	25.4φ
ⓖ	12.7φ	28.58φ

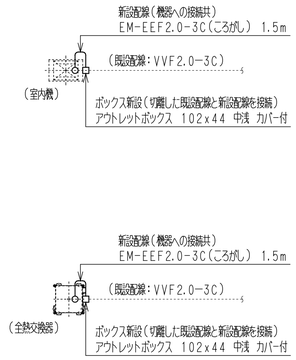
特記事項				
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO　施設部長 保全課　見明　戸田　黒須　筋野
			図面名称：空気調和設備　5階配管平面図	作成年度：令和8年　縮尺：1/100 A1　1/200 A3　図面番号：M － 306

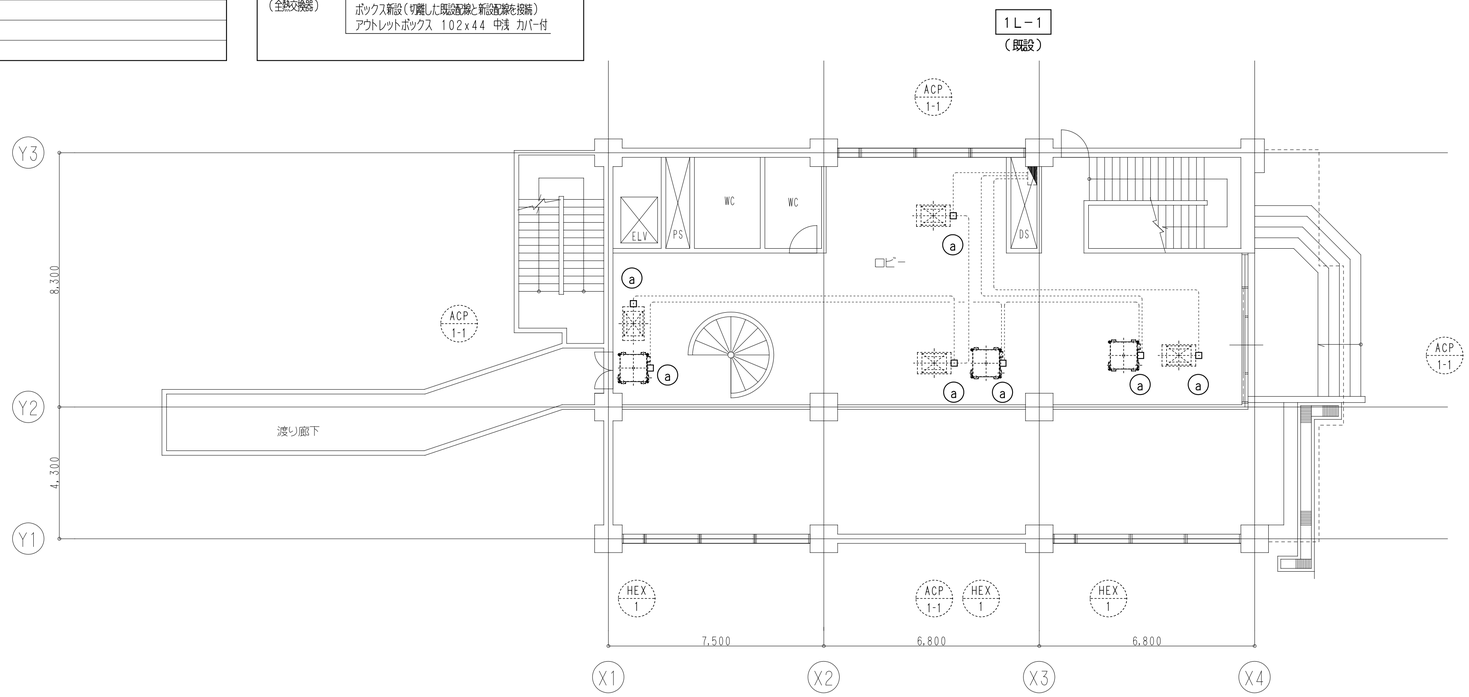
1	二次側動力設備　1階平面図	1／100

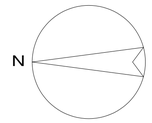
工事概要（1階～4階）
■　空気調和機（室内機）および全熱交換器の新設に伴い、機器への配線接続（一部新設）及びボックスの新設を行う。
詳細は機器廻り配線参考図参照とする。
■　現地調査・確認を十分行い、監督員の承諾を得た上で作業を行うこと。
■　新設に伴い躯体及び既設造作物を損傷しない様注意すること。補修が生じた場合、本工事にて補修を行うものとする。

注記
1．細点線表記のケーブル配線は既設再使用とする。
2．平面図に記載の ⓐ については機器廻り配線参考図を参照すること。
3．空気調和機（室内機・室外機）及び全熱交換器の新設については空気調和設備工事にて行う。
4．5階室外機廻りの配管配線用の支持材はＳＵＳ製とする。

機器廻り配線参考図（ ⓐ 詳細）





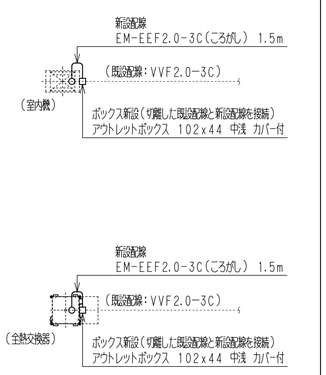


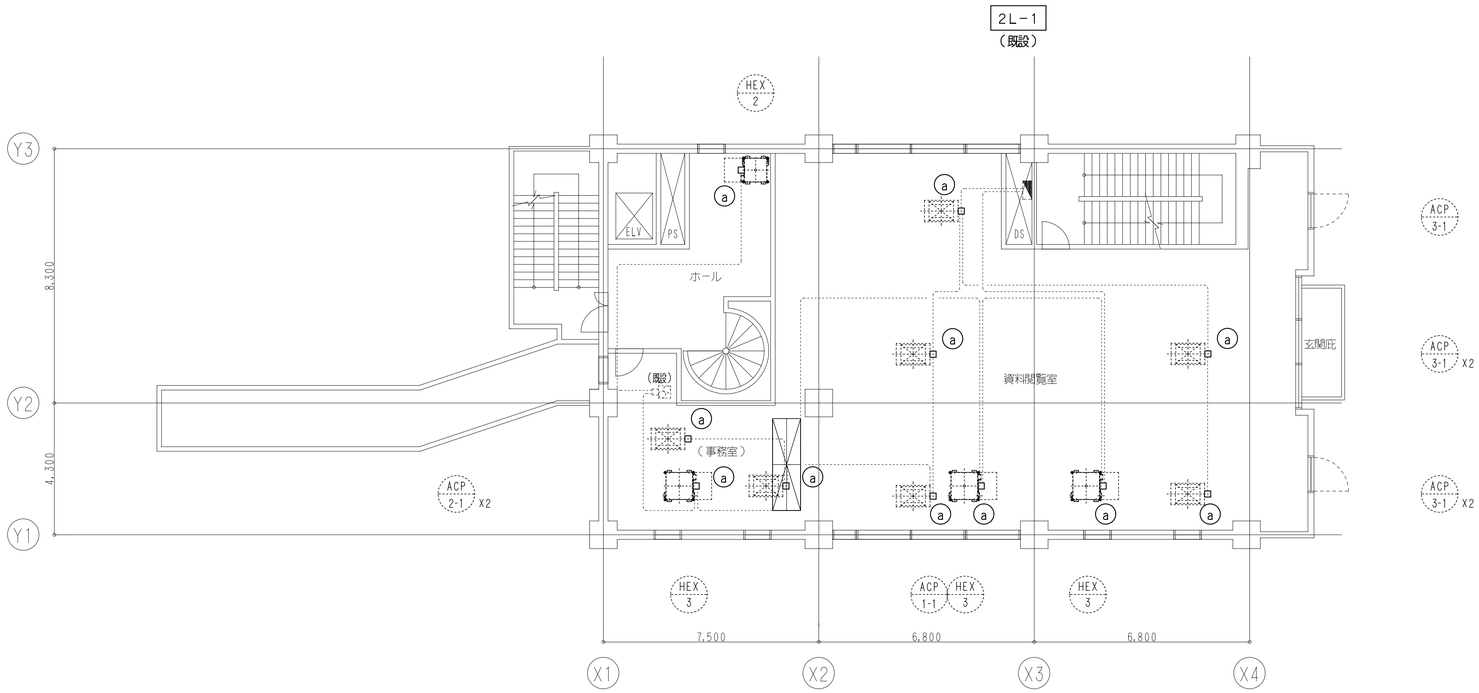
概要図

特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO　見明　戸田　黒須　筋野	
・ ・ ・ ・ ・			図面名称 二次側動力設備　1階平面図	作成年度 令和8年	縮　尺 1/100　A1 1/200　A3	図面番号 M － 401

1	二次側動力設備　2階平面図	1／100

機器廻り配線参考図（ ⓐ 詳細）



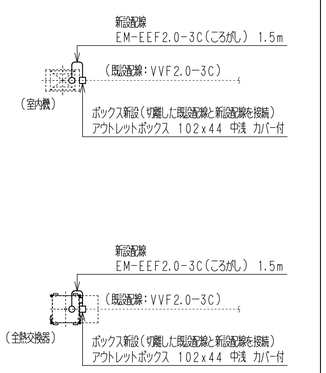


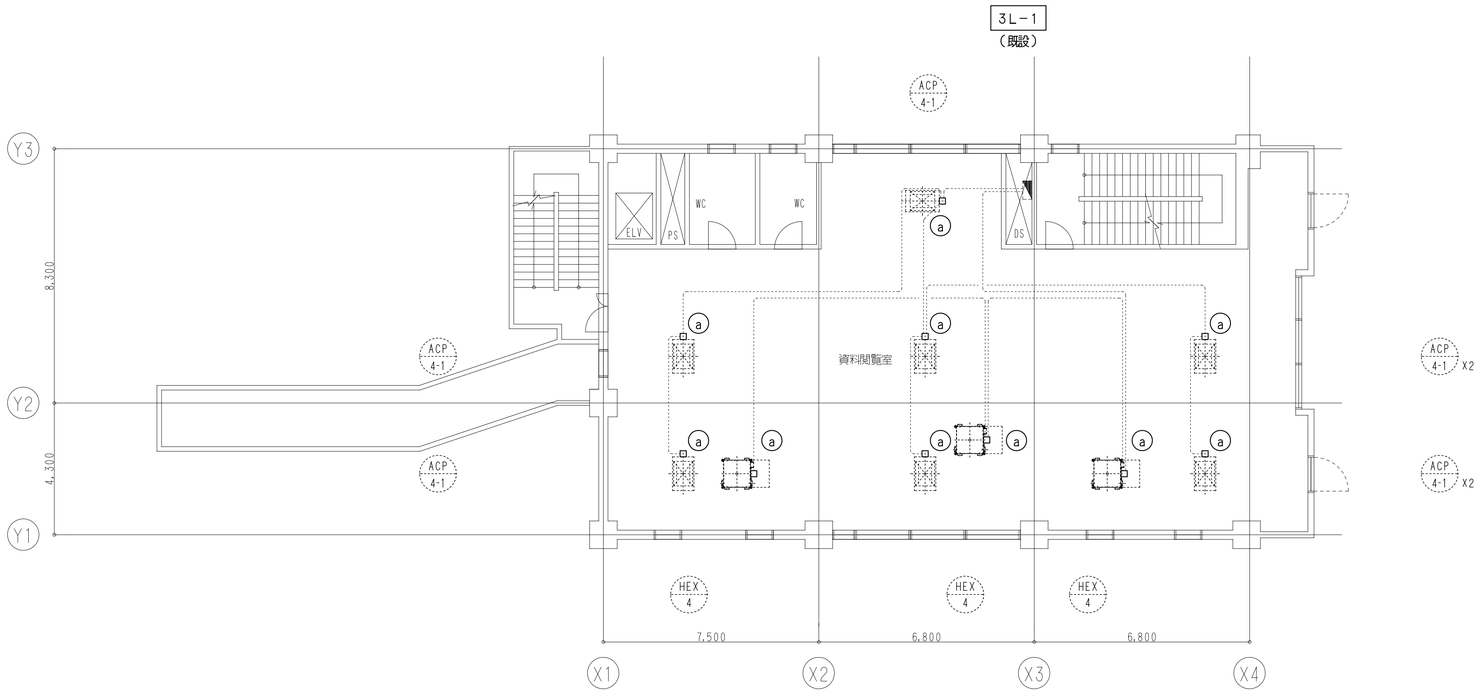
概要図

特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 The University of Tokyo	見明 戸田	黒須 筋野
・			図面名称	作成年度	縮　尺	図面番号
・			二次側動力設備　2階平面図	令和8年	1/100 A1 1/200 A3	M － 402
・						
・						

1	二次側動力設備　3階平面図	1／100

機器廻り配線参考図（ⓐ詳細）



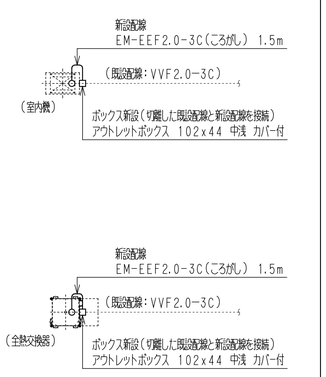


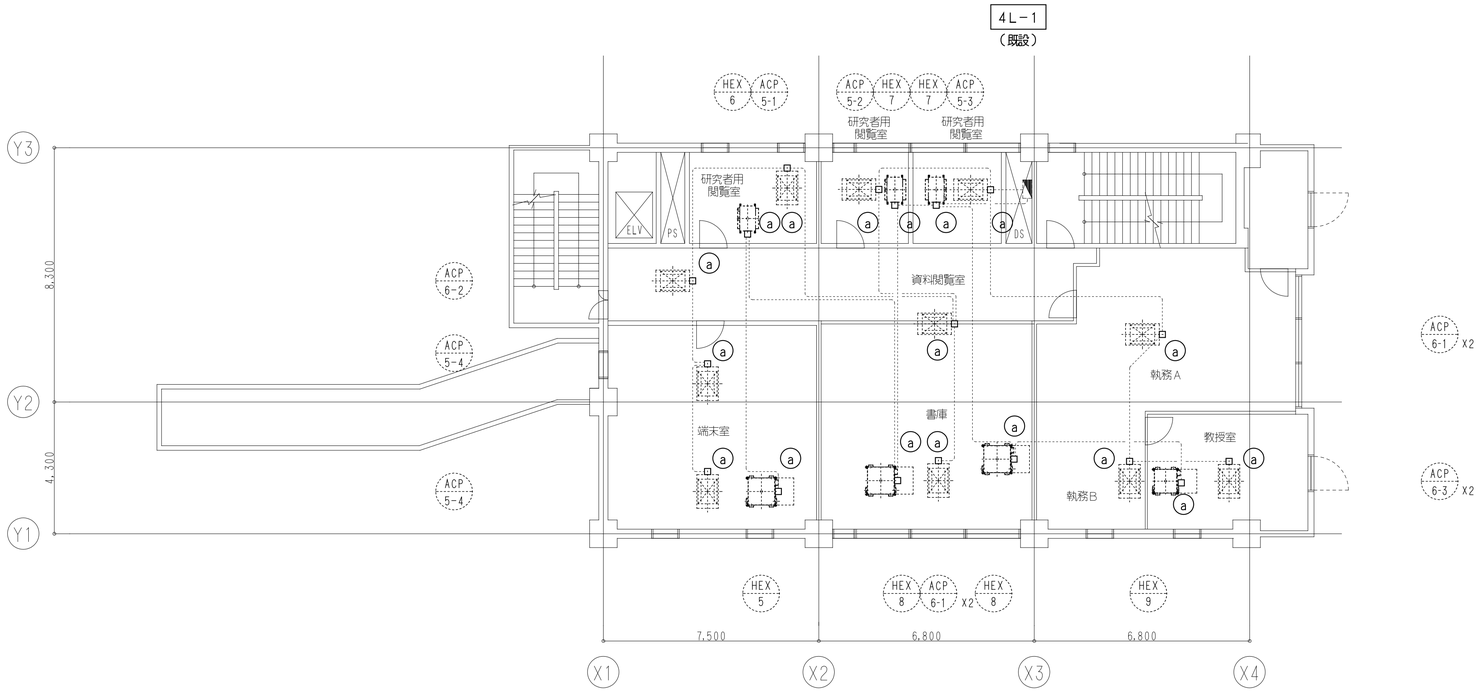
概要図

特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO	見明 戸田	黒須 筋野
・			図面名称	作成年度	縮　尺	図面番号
・			二次側動力設備　3階平面図	令和8年	1/100 A1 1/200 A3	M － 403
・						
・						
・						

1	二次側動力設備　4階平面図	1／100

機器廻り配線参考図（ⓐ詳細）



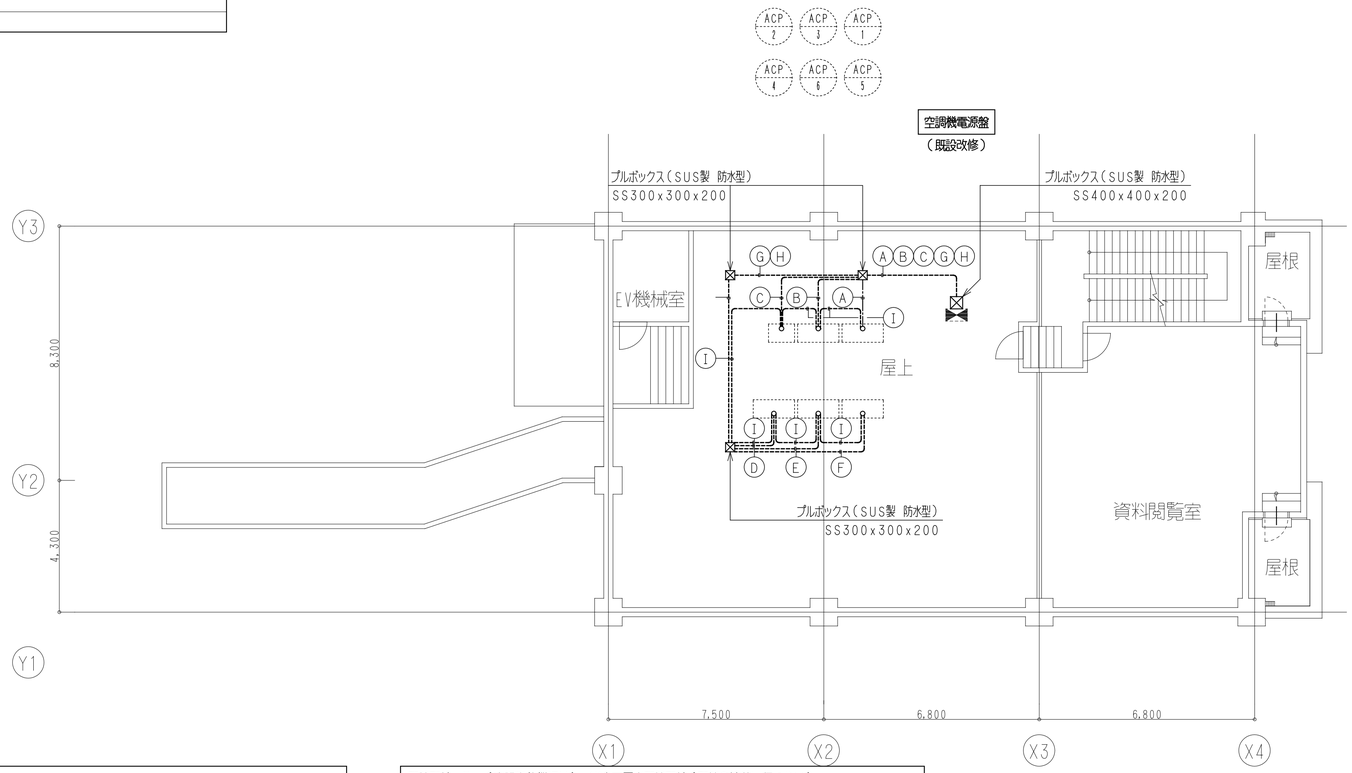


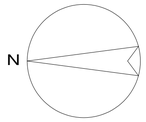
概要図

特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO　見明　戸田　黒須　筋野	
・ ・ ・ ・ ・			図面名称 二次側動力設備　4階平面図	作成年度 令和8年	縮　尺 1/100　A1 1/200　A3	図面番号 TM - 404

1	二次側動力設備　5階平面図	1／100

工事概要（5階）
■　空気調和機（室外機）の新設に伴い配管配線・プルボックスの新設を行う。
資料閲覧室については空調機を新設するため、室外機から室内機への配線も合わせて行う。（冷媒管共巻き）
■　資料閲覧室の空調機電源については、既設空調機電源盤に漏電遮断機の取付けを行い電源供給を行う。
（既設空調機電源盤　結線図参照）
■　既設空調機電源盤の銘板の変更を行う。（ＰＡＣ→ＡＣＰに変更しているため。）
■　現地調査・確認を十分行い、監督員の承諾を得た上で作業を行うこと。
■　新設に伴い躯体及び既設造作物を損傷しない様注意すること。補修が生じた場合、本工事にて補修を行うものとする。





既設空調機電源盤　結線図（鋼板製自立型　防水仕様）

電圧	配線用遮断器	負荷名称	容量
3φ3W200V	MCCB3P 100AF/75AT	ACP-1	7.1kw
3φ3W200V	MCCB3P 50AF/40AT	ACP-2	4.2kw
3φ3W200V	MCCB3P 50AF/50AT	ACP-3	5.5kw
3φ3W200V	MCCB3P 100AF/75AT	ACP-4	7.1kw
3φ3W200V	MCCB3P 50AF/50AT	ACP-5	5.5kw
3φ3W200V	MCCB3P 50AF/50AT	ACP-6	5.5kw
3φ3W200V	MCCB3P 50AF/30AT	4F医薬空調機	2.0kw

計：36.9kw

ED ◎

配管配線リスト（空調室外機廻り）　※全て露出配管配線（配管の塗装は行わない）

記号	負荷名称	ケーブル	配管	電動機接続材
Ⓐ	ACP-1	EM-CE 14□-3C・E5.5□	(G36)	F2(38)WP
Ⓑ	ACP-2	EM-CE5.5□-3C・E5.5□	(G28)	F2(30)WP
Ⓒ	ACP-3	EM-CE　8□-3C・E5.5□	(G36)	F2(38)WP
Ⓓ	ACP-4	EM-CE 14□-3C・E5.5□	(G36)	F2(38)WP
Ⓔ	ACP-5	EM-CE　8□-3C・E5.5□	(G36)	F2(38)WP
Ⓕ	ACP-6	EM-CE　8□-3C・E5.5□	(G36)	F2(38)WP
Ⓖ	ACP-4	EM-CE 14□-3C・E5.5□	(G36)	F2(38)WP
Ⓗ	ACP-5	EM-CE　8□-3C・E5.5□	(G54)	F2(50)WP
	ACP-6	EM-CE　8□-3C・E5.5□		
Ⓘ	－	EM-CEE 2□-2C	(G22)	F2(24)WP

電動機接続材の使用箇所は下記による。

1）空調室外機接続箇所

2）空調機電源盤後部のプルボックスへの配管接続箇所

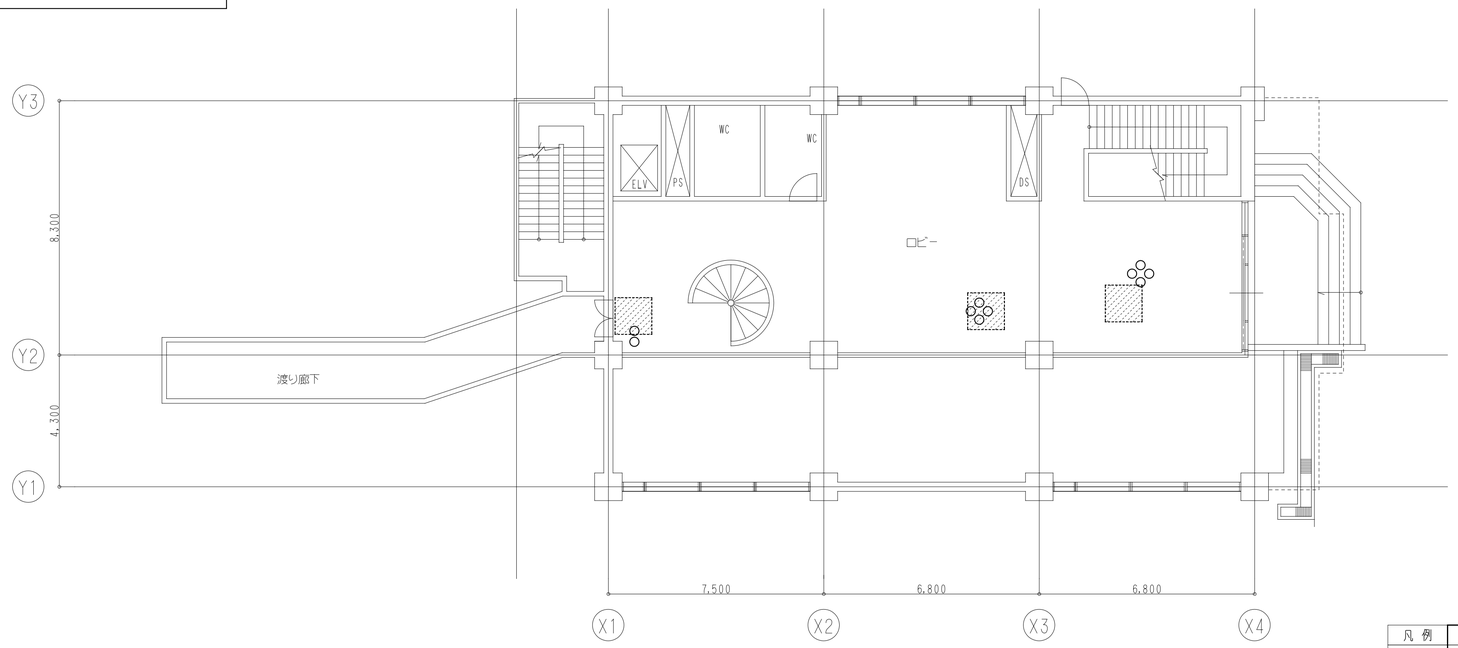
概要図

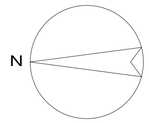
特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 The University of Tokyo　施設部長 保全課　見明　戸田　黒須　筋野	
・			図面名称：二次側動力設備　5階平面図	作成年度：令和8年	縮尺：1/100 A1　1/200 A3	図面番号：M－405
・					
・					
・					
・					

1	電気設備取外し再取付　1階平面図	1／100

工事概要（1階～4階）
■　全熱交換器の新設に伴い天井解体を行うため、解体に伴う電気設備機器の取外し、再取付を行う。
■　現地調査・確認を十分行い、監督員の承諾を得た上で作業を行うこと。
■　躯体及び既設造作物を損傷しない様注意すること。補修が生じた場合、本工事にて補修を行うものとする。

注記
1．平面図表記の機器について取外し再取付を行うこと。機器仕様・台数については数量表を参照とする。





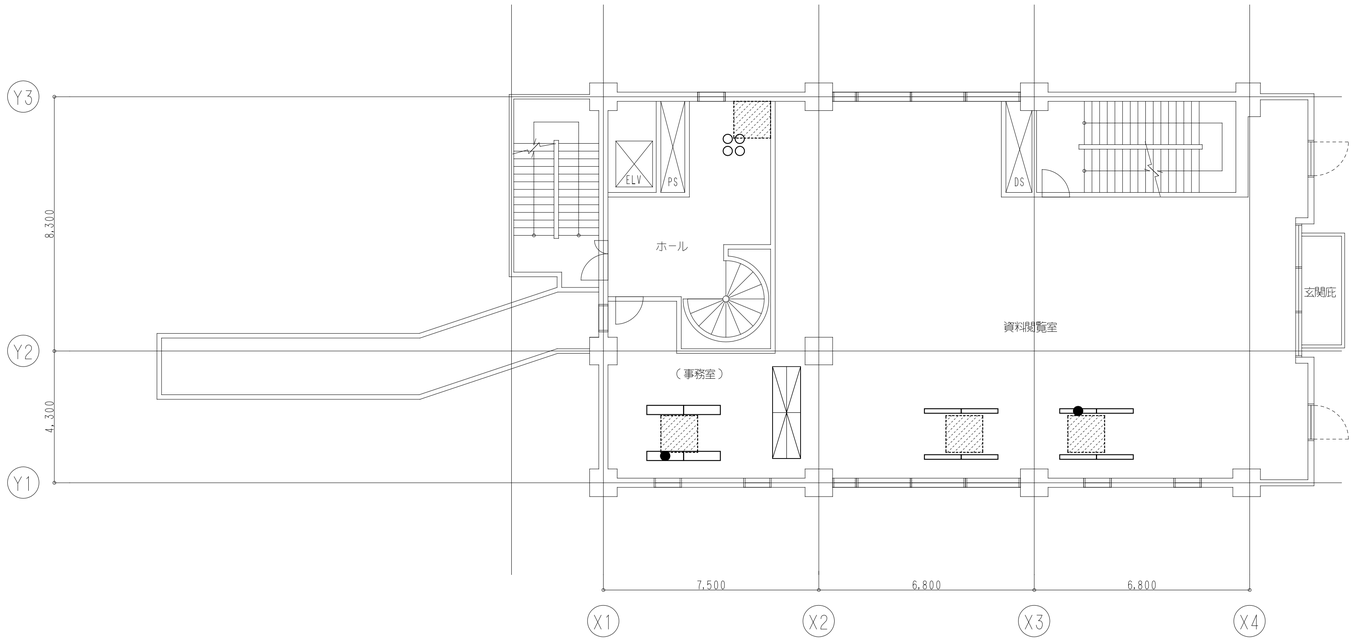
凡 例	室 名	ロビー	
○	一般照明	FRS11-D271	10
	非常用照明	-	
	誘導灯	-	
	スピーカ	-	
	監視カメラ	-	
	感知器	-	

概要図

：天井解体範囲

特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 施設部長 保全課 見明　戸田　黒須　筋野	
・			図面名称 電気設備取外し再取付　1階平面図	作成年度 令和8年	縮　尺 1/100　A1 1/200　A3	図面番号 M － 501
・					
・					
・					

1	電気設備取外し再取付　2階平面図	1／100



凡 例	室 名	ホール	
○	一般照明	FDL27W-1	4
	非常用照明	-	
	誘導灯	-	
	スピーカ	-	
	監視カメラ	-	
	感知器	-	

凡 例	室 名	事務室	
▭	一般照明	FRS15L3V3-322	3
▭●	非常用照明	K1-FRS15L3V3-322	1
	誘導灯	-	
	スピーカ	-	
	監視カメラ	-	
	感知器	-	

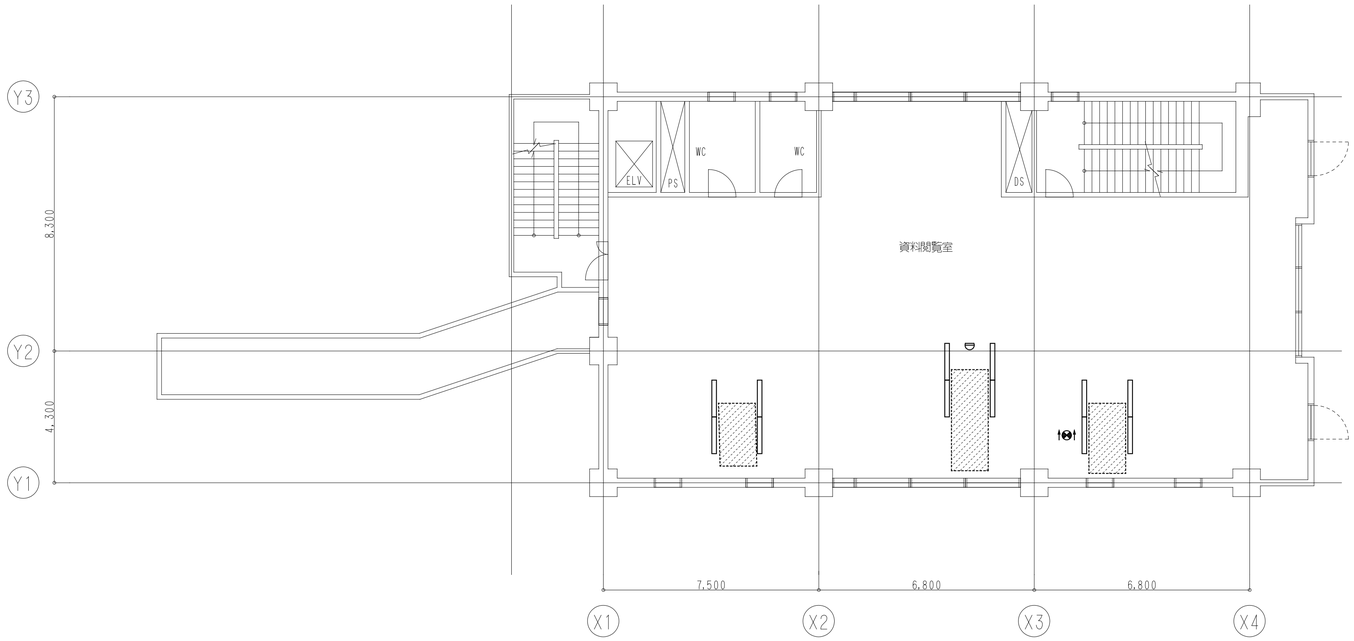
凡 例	室 名	資料閲覧室	
▭	一般照明	FRS15L5-321	7
▭●	非常用照明	K1-FRS15L5-321	1
	誘導灯	-	
	スピーカ	-	
	監視カメラ	-	
	感知器	-	

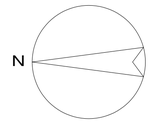
概要図

：天井解体範囲

特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 見明　戸田　黒須　筋野	
・			図面名称 電気設備取外し再取付　2階平面図	作成年度 令和8年	縮　尺 1/100　A1 1/200　A3	図面番号 M － 502
・					
・					
・					
・					

1	電気設備取外し再取付　３階平面図	1／100





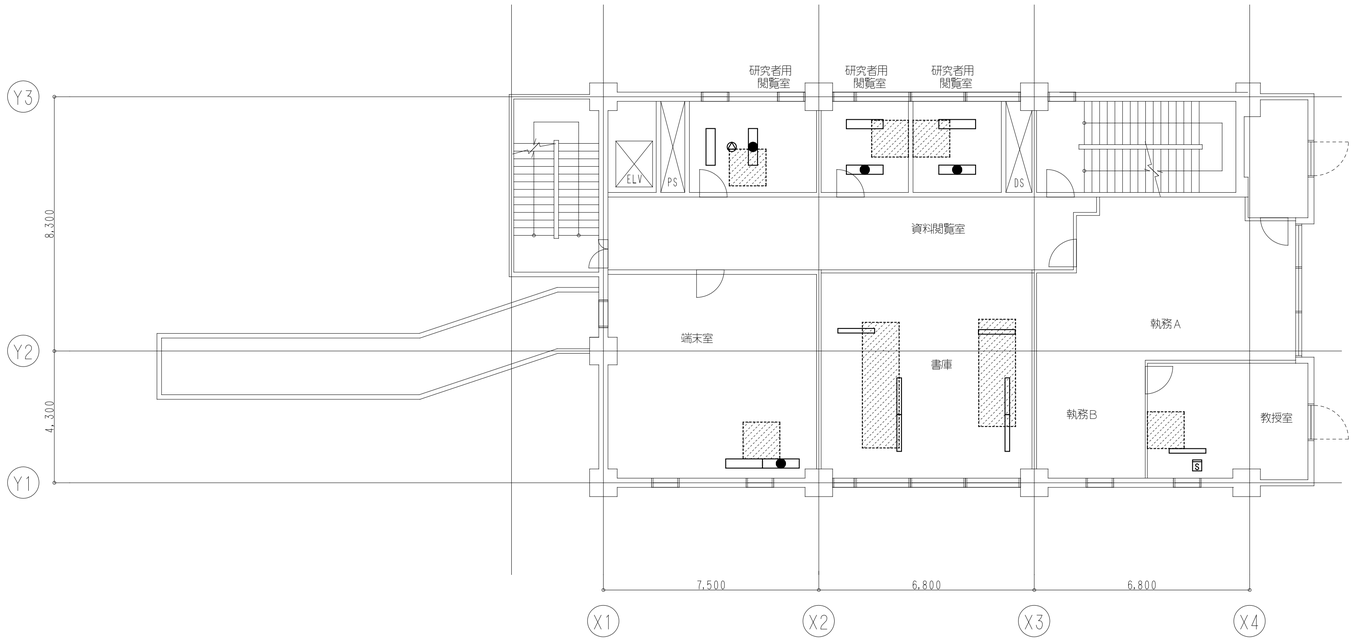
凡 例	室 名	資料閲覧室	
	一般照明	FRS15L5-321	12
	非常用照明	-	
	誘導灯	ST1-FBF12P-101	1
	スピーカ	-	
	監視カメラ	-	
	感知器	作動式スポット型感知器　2種	1

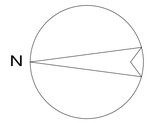
概要図

：天井解体範囲

特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 見明　戸田　黒須　筋野	
・			図面名称 電気設備取外し再取付　３階平面図	作成年度 令和8年	縮　尺 1/100　A1 1/200　A3	図面番号 M － 503
・					
・					
・					
・					

1	電気設備取外し再取付　4階平面図	1／100





凡 例	室 名	研究者用料閲覧室	
▭	一般照明	FRS15L5-322	1
▭●	非常用照明	K1-FRS15L5-322	1
	誘導灯	-	
◎	スピーカ	天井埋込型スピーカ	1
	監視カメラ	-	
	感知器	-	

凡 例	室 名	研究者用料閲覧室	
▭	一般照明	FRS15L5-322	1
▭●	非常用照明	K1-FRS15L5-322	1
	誘導灯	-	
	スピーカ	-	
	監視カメラ	-	
	感知器	-	

凡 例	室 名	研究者用料閲覧室	
▭	一般照明	FRS15L5-322	1
▭●	非常用照明	K1-FRS15L5-322	1
	誘導灯	-	
	スピーカ	-	
	監視カメラ	-	
	感知器	-	

凡 例	室 名	端末室	
▭	一般照明	FRS15L3V3-322	1
▭●	非常用照明	K1-FRS15L3V3-322	1
	誘導灯	-	
	スピーカ	-	
	監視カメラ	-	
	感知器	-	

凡 例	室 名	書庫	
▭	一般照明	FRS15L5V5-321	6
	非常用照明		
	誘導灯	-	
	スピーカ	-	
	監視カメラ	-	
	感知器	-	

凡 例	室 名	教授室	
○	一般照明	FRS15L5-321	1
	非常用照明	-	
	誘導灯	-	
	スピーカ	-	
	監視カメラ	-	
S	感知器	光電式スポット型感知器　2種	1

概要図

：天井解体範囲

特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO　見明　戸田　黒須　筋野	
・			図面名称 電気設備取外し再取付　4階平面図	作成年度 令和8年	縮　尺 1/100　A1 1/200　A3	図面番号 M － 504
・					
・					
・					
・					

【撤去】 マルチパッケージ形空調機機器表

・撤去とする。

室外機

機器番号	名称（系統）	冷暖房形式 切替	冷暖房形式 同時	冷暖房形式 冷専	冷房能力 kW	暖房能力 kW	電源容量 相	電源容量 V	電源容量 圧縮機 kW	電源容量 送風機 kW	台数	設置場所 階	設置場所	備考
PAC-1	空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			26.2	20.9	3	200	7.50	0.20	1	R	室外機置場	FDCJ224HKX
	(1階系統)													既存：三菱重工
PAC-2	空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			10.8	7.6	3	200	3.75	0.13	1	R	室外機置場	FDCJ140HKX
	(2階系統)													
PAC-3	空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			19.8	10.6	3	200	5.50	0.20	1	R	室外機置場	FDCJ224HKX
	(2階資料館系統)													
PAC-4	空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			20.8	13.8	3	200	7.50	0.20	1	R	室外機置場	FDCJ280HKX
	(3階系統)													
PAC-5	空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			14.4	9.4	3	200	5.50	0.20	1	R	室外機置場	FDCJ224HKX
	(研究者用閲覧室系統)													
PAC-6	空冷式マルチパッケージ形空気調和機	○			18.7	15.7	3	200	5.50	0.20	1	R	室外機置場	FDCJ224HKX
	(4階資料展示室系統)													

室内機

機器番号	形式	冷房能力 kW	暖房能力 kW	送風機 送風量 (m3/h)	送風機 機外静圧 Pa	送風機 電気容量 相	送風機 電気容量 V	送風機 電気容量 kW	集中リモコン	台数	室内リモコン個数	系統 階	系統 室名	備考
ACP-1-1	カセット形(2方向)	6.5	5.2	780	0	1	200	0.06	①	4	2	1	エントランスホール	FDTWJ71HKX
														既存：三菱重工
ACP-2-1	カセット形(2方向)	2.9	3.3	720	0	1	200	0.06	①	1	1	2	ホール	FDTWJ45HKX
ACP-2-2	カセット形(2方向)	4.0	2.1	720	0	1	200	0.06	①	2	1	2	事務所	FDTWJ45HKX
ACP-3-1	カセット形(2方向)	4.0	2.1	720	0	1	200	0.06	①	5	1	2	2階資料閲覧室	FDTWJ45HKX
ACP-4-1	カセット形(2方向)	3.0	2.0	720	0	1	200	0.06	①	7	2	3	3階資料展示コーナー	FDTWJ45HKX
ACP-5-1	カセット形(2方向)	1.8	2.4	720	0	1	200	0.06	①	1	1	4	研究者用閲覧室(1)	FDTWJ28HKX
ACP-5-2	カセット形(2方向)	2.3	1.1	720	0	1	200	0.06	①	1	1	4	研究者用閲覧室(2)	FDTWJ28HKX
ACP-5-3	カセット形(2方向)	2.4	1.7	720	0	1	200	0.06	①	1	1	4	研究者用閲覧室(3)	FDTWJ28HKX
ACP-5-4	カセット形(2方向)	3.9	2.1	720	0	1	200	0.06	①	2	1	4	端末室	FDTWJ45HKX
ACP-6-1	カセット形(2方向)	3.9	3.0	720	0	1	200	0.06	①	3	1	4	資料展示室	FDTWJ45HKX
ACP-6-2	カセット形(2方向)	2.6	2.1	720	0	1	200	0.06	①	1	－	4	廊下(EV前)	FDTWJ28HKX
ACP-6-3	カセット形(2方向)	2.4	2.3	720	0	1	200	0.06	①	2	1	4	特別閲覧室	FDTWJ28HKX

【撤去】全熱交換器ユニット

・撤去とする。

機器番号	名称（系統）	形式	仕様 処理風量 [m3/h]	仕様 静圧 [mmaq]	仕様 交換効率 [%]	電源容量 φ	電源容量 V	電源容量 KW	起動方式	集中リモコン系統	発電機電源	防振装置	台数	個別リモコン	設置場所 階	設置場所 設置室	備考
HEX-1	全熱交換器ユニット	天吊埋込型	270	6	60	1	100	0.15	直入	①	—	防振吊金物	3	3	1	エントランスホール	LGH-35RF2
																	既存：三菱電機
HEX-2	全熱交換器ユニット	天吊埋込型	160	5	60	1	100	0.12	直入	①	—	防振吊金物	1	1	2	2階ロビー	LGH-25RF2
HEX-3	全熱交換器ユニット	天吊埋込型	270	5	60	1	200	0.15	直入	①	—	防振吊金物	3	3	2	資料閲覧室	LGH-35RF2
HEX-4	全熱交換器ユニット	天吊埋込型	270	5	60	1	200	0.15	直入	①	—	防振吊金物	3	3	3	参考資料収蔵庫	LGH-35RF2
HEX-5	全熱交換器ユニット	天吊埋込型	260	5	60	1	100	0.15	直入	①	—	防振吊金物	1	1	4	参考資料室	LGH-35RF2
HEX-6	全熱交換器ユニット	天吊埋込型	80	5	60	1	100	0.06	直入	①	—	防振吊金物	1	1	4	研究者用閲覧室(1)	LGH-15CF
HEX-7	全熱交換器ユニット	天吊埋込型	20	5	60	1	100	0.06	直入	①	—	防振吊金物	2	2	4	研究者用閲覧室(2)(3)	LGH-15CF
HEX-8	全熱交換器ユニット	天吊埋込型	300	5	60	1	100	0.15	直入	①	—	防振吊金物	2	2	4	資料展示室	LGH-35RF2
HEX-9	全熱交換器ユニット	天吊埋込型	200	6	60	1	100	0.12	直入	①	—	防振吊金物	1	1	4	特別閲覧室	LGH-25RF2

【既存】送排風機・排煙機

・既設再利用とする。

機器番号	名称（系統）	形式	仕様 番手 No.	仕様 風量 [m3/h]	仕様 静圧 [Pa]	電源容量 φ	電源容量 V	電源容量 KW	起動方式	発電機電源	設置方法	防振装置	台数	設置場所 階	設置場所 設置室	備考
F-1	排気ファン	天井扇	VD-20ZB4	270	10	1	100	0.04	直入	—	天吊	防振吊	4	1	便所内	
F-2	排気ファン	天井扇	VD-20ZXP4-0	290	11	1	100	0.05	直入	—	天吊	防振吊	1	2	ラウンジ	
F-3	排気ファン	天井扇	VD-18Z4	220	9	1	100	0.03	直入	—	天吊	温度スイッチ	1	2	休憩室	
F-4	排気ファン	有圧扇	EF-30BSB	1,000	5	1	100	0.05	直入	—	天吊	防振吊	1	5	ELV機械室	
F-5	排気ファン	天吊型	BFS-25ESAU	1,060	23	1	100	0.40	直入	—	天吊	防振吊	1	5	保存書庫	

概要図

特記事項

訂 正

テクノ工営 一級建築士事務所

業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務

工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事

施設部長 保全課 見明 戸田 黒須 筋野

図面名称 撤去 空気調和設備 機器表

作成年度 令和8年

縮尺 N.S A1 N.S A3

図面番号 TM － 101

1	1階平面図	1／100

改修概要
■ 図示するダクトは機器より0.5mの範囲を撤去とする。
■ リモコンは撤去とし、配線は再利用とする。
■ 機器撤去に伴う天井解体・復旧は本工事とする。
①化粧石膏ボード9.5t ②岩綿吸音板12t

凡 例

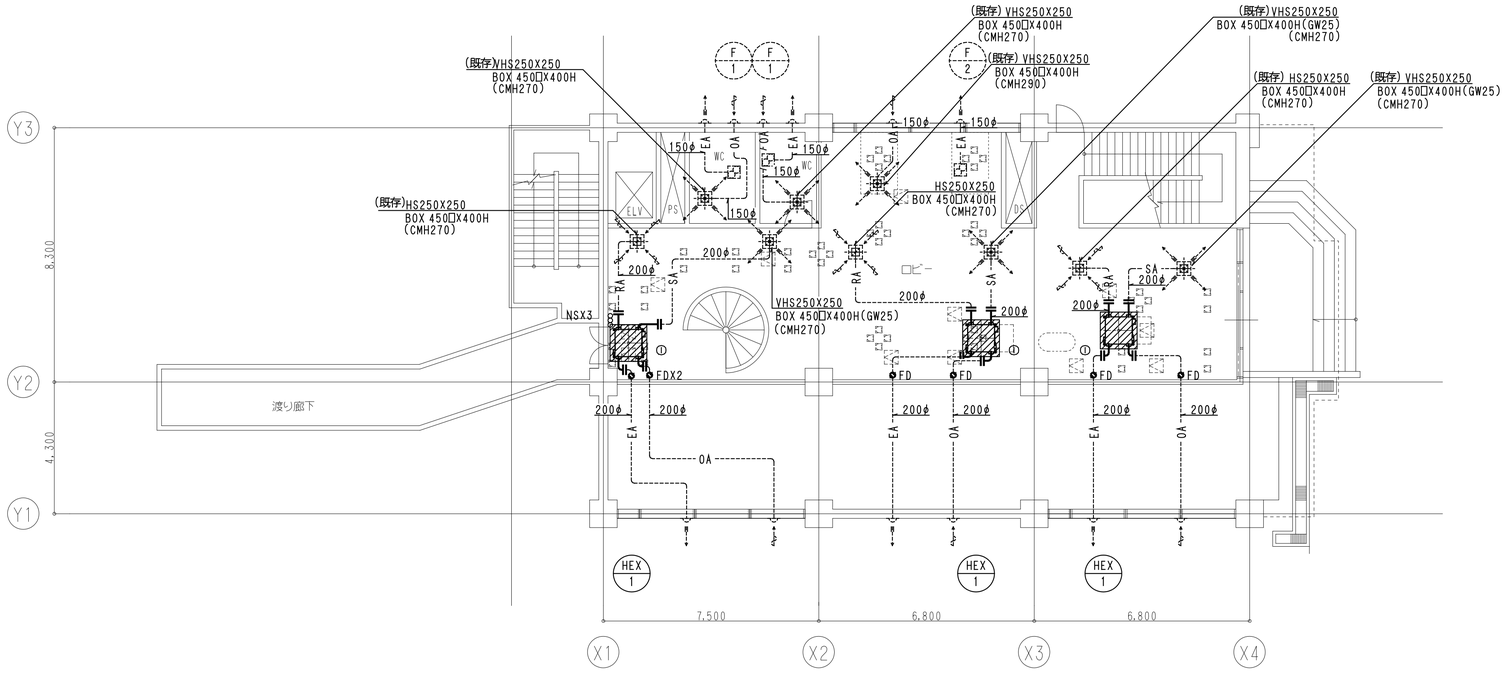
――――	撤去機器・配管類
----------	残置機器・配管類
▨	天井解体・復旧

＜注記＞
・機器更新に伴う、天井解体面積は特記無き限り下記を見込むこと。
天井埋込形：1．3×1．3m　　天カセ形：1．3×0．9m
・機器撤去更新に伴う養生を見込むこと。（数量は参考値）
床養生（ビニールシート）：120m2
家具（書棚）養生：－m2

凡 例

記 号	名 称	材 質
―― OA ――	外気ダクト	特記仕様書による。
―― EA ――	排気ダクト	〃
―― SA ――	給気ダクト（全熱交2次側）	〃
―― RA ――	還気ダクト（全熱交2次側）	

※更新するダクトはフレキシブルダクト（断熱材付）でも可とする。



概要図

特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 The University of Tokyo	見明 戸田	黒須 筋野
・			図面名称	作成年度	縮 尺	図面番号
・			撤去 空気調和設備 1階ダクト平面図	令和8年	1/100 A1 1/200 A3	TM － 201
・						
・						

1	2階平面図	1／100

改修概要
■ 図示するダクトは機器より0.5mの範囲を撤去とする。
■ リモコンは撤去とし、配線は再利用とする。
■ 機器撤去に伴う天井解体・復旧は本工事とする。
①化粧石膏ボード9.5t ②岩綿吸音板12t

凡 例

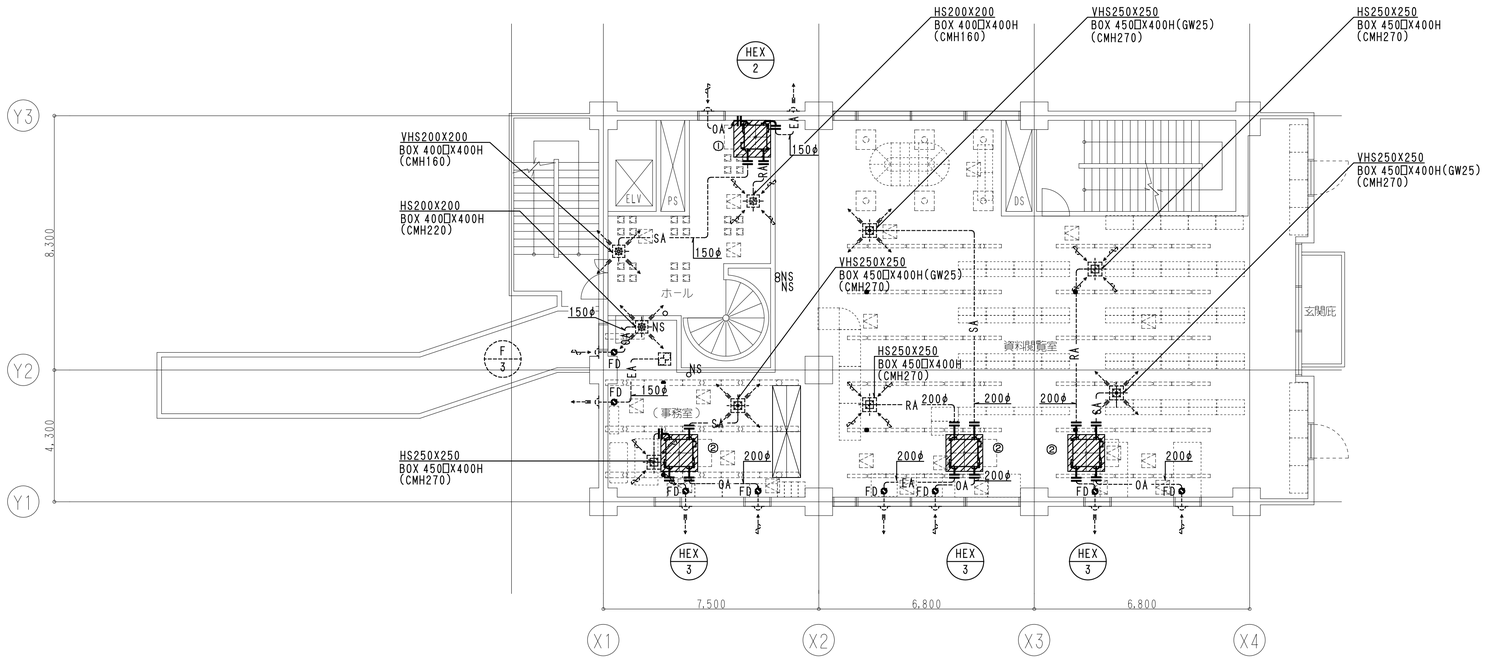
――――	撤去機器・配管類
----------	残置機器・配管類
▨	天井解体・復旧

＜注記＞
・機器更新に伴う、天井解体面積は特記無き限り下記を見込むこと。
天井埋込形：1．3×1．3m　　天カセ形：1．3×0．9m
・機器撤去更新に伴う養生を見込むこと。（数量は参考値）
床養生（ビニールシート）：250m2
家具（書棚）養生：190m2

凡 例

記 号	名 称	材 質
―― OA ――	外気ダクト	特記仕様書による。
―― EA ――	排気ダクト	〃
―― SA ――	給気ダクト（全熱交2次側）	〃
―― RA ――	還気ダクト（全熱交2次側）	

※更新するダクトはフレキシブルダクト（断熱材付）でも可とする。



概要図

特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO	見明 戸田	黒須 筋野
			図面名称	作成年度	縮 尺	図面番号
			撤去 空気調和設備 2階ダクト平面図	令和8年	1/100 A1 1/200 A3	TM － 202

1	3階平面図	1／100

改修概要
■ 図示するダクトは機器より0.5mの範囲を撤去とする。
■ リモコンは撤去とし、配線は再利用とする。
■ 機器撤去に伴う天井解体・復旧は本工事とする。
①化粧石膏ボード9.5t ②岩綿吸音板12t

凡 例

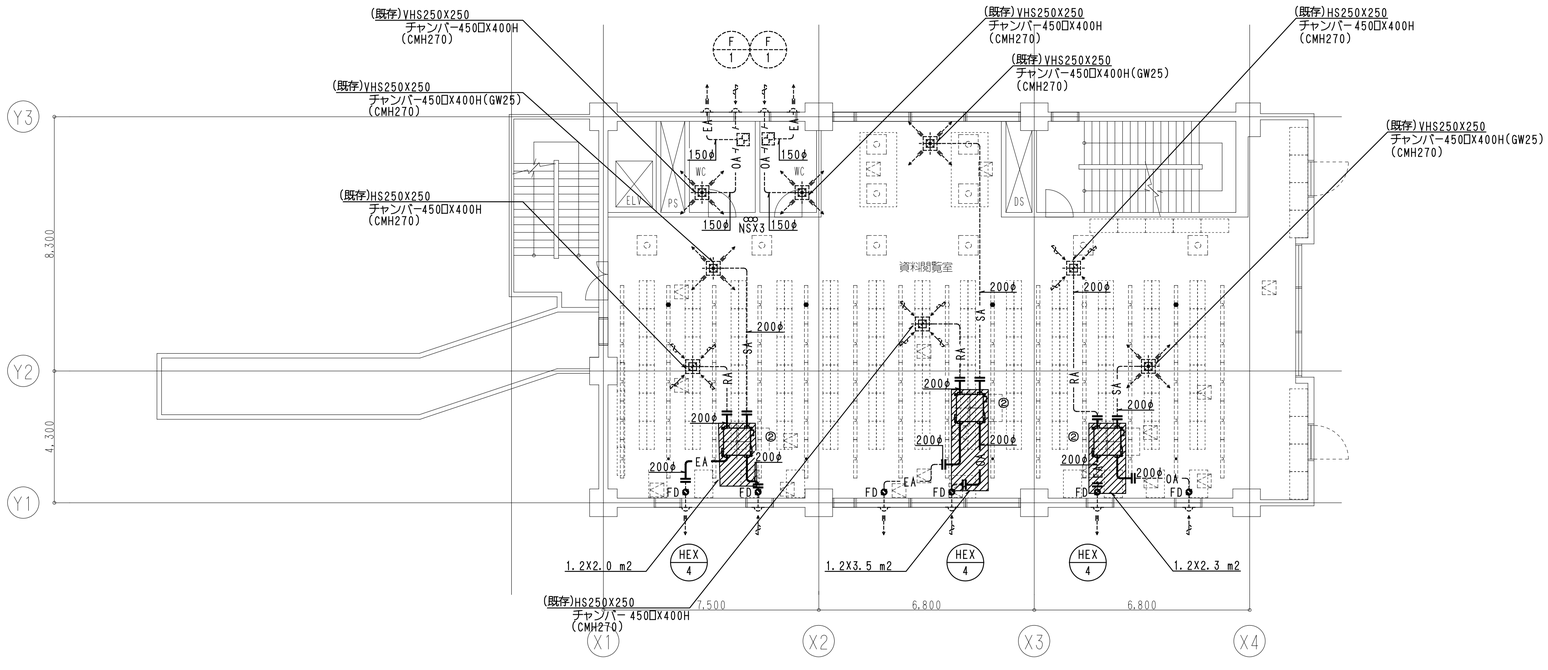
――――	撤去機器・配管類
----------	残置機器・配管類
▨	天井解体・復旧

＜注記＞
・機器更新に伴う、天井解体面積は特記無き限り下記を見込むこと。
天井埋込形：1．3×1．3m　　天カセ形：1．3×0．9m
・機器撤去更新に伴う養生を見込むこと。（数量は参考値）
床養生（ビニールシート）：　240m2
家具（書棚）養生　：　370m2

凡 例

記 号	名 称	材 質
―― OA ――	外気ダクト	特記仕様書による。
―― EA ――	排気ダクト	〃
―― SA ――	給気ダクト（全熱交2次側）	〃
―― RA ――	還気ダクト（全熱交2次側）	

※更新するダクトはフレキシブルダクト（断熱材付）でも可とする。



概要図

特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 The University of Tokyo	見明 戸田	黒須 筋野
			図面名称	作成年度	縮 尺	図面番号
			撤去　空気調和設備　３階ダクト平面図	令和8年	1/100 A1 1/200 A3	TM -203

1	4階平面図	1／100

改修概要
■ 図示するダクトは機器より0.5mの範囲を撤去とする。
■ リモコンは撤去とし、配線は再利用とする。
■ 機器撤去に伴う天井解体・復旧は本工事とする。
①化粧石膏ボード9.5t ②岩綿吸音板12t

凡 例

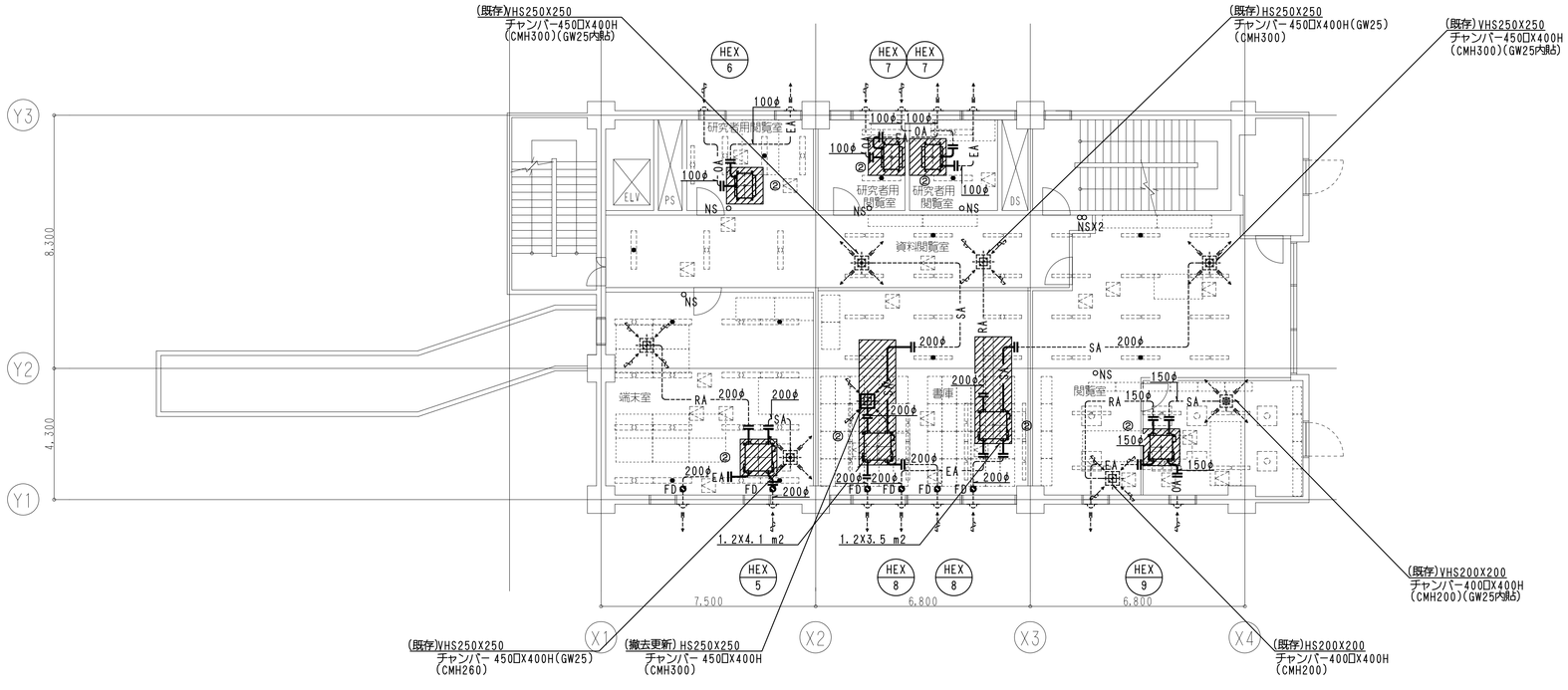
――――	撤去機器・配管類
----------	残置機器・配管類
▨	天井解体・復旧

＜注記＞
・機器更新に伴う、天井解体面積は特記無き限り下記を見込むこと。
天井埋込形：1．3×1．3m　　天カセ形：1．3×0．9m
・機器撤去更新に伴う養生を見込むこと。（数量は参考値）
床養生（ビニールシート）：220m2
家具（書棚）養生：40m2

凡 例

記 号	名 称	材 質
―― OA ――	外気ダクト	特記仕様書による。
―― EA ――	排気ダクト	〃
―― SA ――	給気ダクト（全熱交2次側）	〃
―― RA ――	還気ダクト（全熱交2次側）	

※更新するダクトはフレキシブルダクト（断熱材付）でも可とする。



概要図

特記事項					
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課 東京大学 The University of Tokyo 見明 戸田 黒須 筋野	
			図面名称 撤去 空気調和設備 4階ダクト平面図	作成年度 令和8年	縮 尺 1/100 A1 1/200 A3	図面番号 TM － 204

16	1階平面図	1／100

【改修概要】

- ■ 図示する空調機の撤去とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲を撤去とする。
- ■ リモコンは撤去とし、配線は再利用とする。
- ■ 機器撤去に伴う天井解体・復旧は本工事とする。

①化粧石膏ボード9.5t ②岩綿吸音板12t

凡 例

――――	撤去機器・配管類
- - - - - - - -	残置機器・配管類
▨	天井解体・復旧

＜注記＞

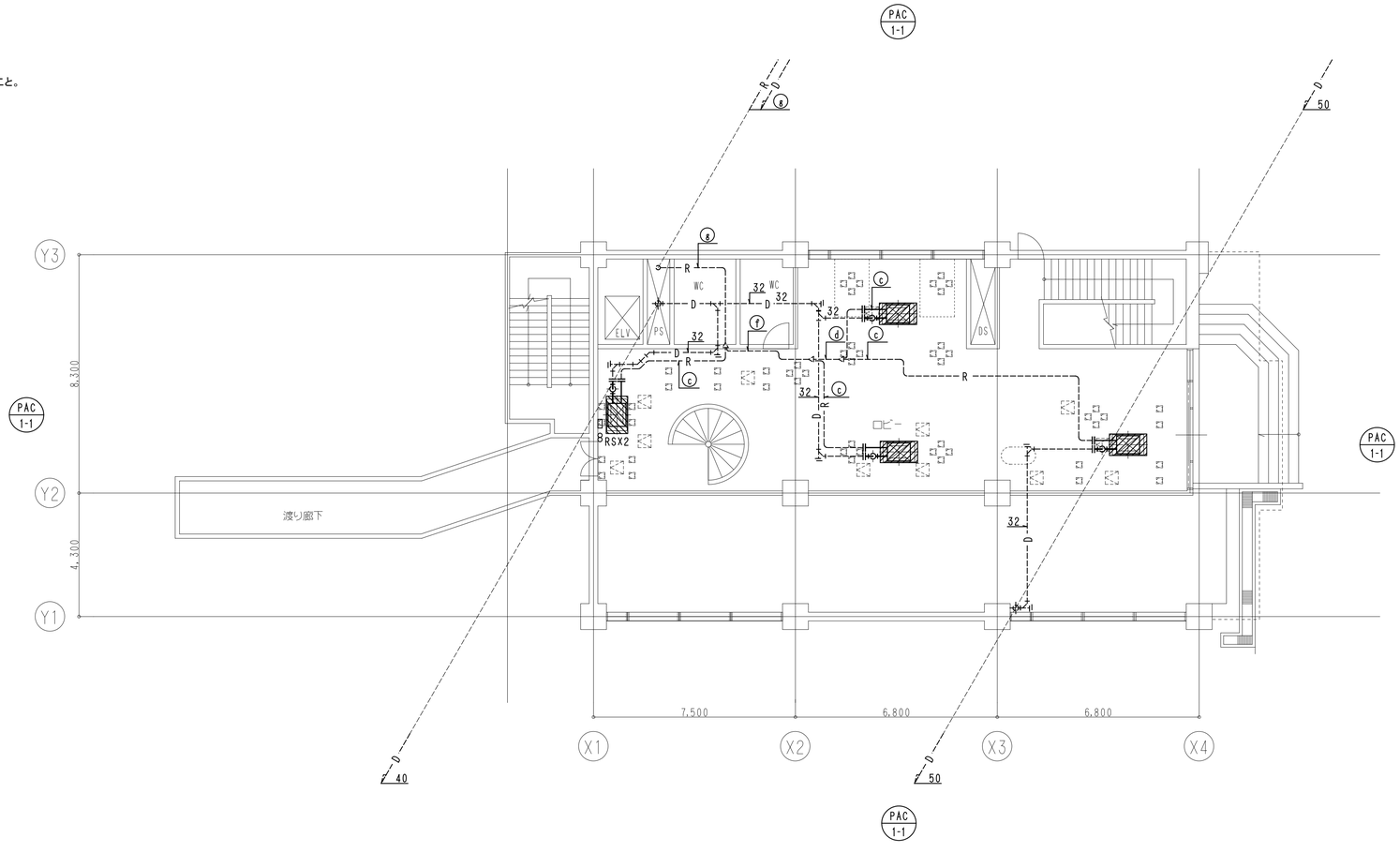
・既存ドレン管の配管洗浄を見込むこと。

・機器更新に伴う、天井解体面積は特記無き限り下記を見込むこと。

1．4×0．75m

凡 例

記 号	名 称	材 質
――R――	冷媒管	特記仕様書による。
――D――	ドレン管	〃
――Ⓣ――	ドレントラップ	



概要図

冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
ⓐ	6.35φ	9.52φ
ⓑ	6.35φ	12.7φ
ⓒ	9.52φ	15.88φ
ⓓ	9.52φ	19.05φ
ⓔ	9.52φ	25.4φ
ⓕ	12.7φ	25.4φ
ⓖ	12.7φ	28.58φ

特記事項					
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 施設部長 保全課 見明 戸田 黒須 筋野	
			図面名称 撤去 空気調和設備 1階配管平面図	作成年度 令和8年	縮 尺 1/100 A1 1/200 A3	図面番号 TM － 301

17	2階平面図	1／100

【改修概要】

■ 図示する空調機の撤去とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲を撤去とする。

■ リモコンは撤去とし、配線は再利用とする。

■ 機器撤去に伴う天井解体・復旧は本工事とする。

①化粧石膏ボード9.5t ②岩綿吸音板12t

凡 例

――――	撤去機器・配管類
- - - - - - - -	残置機器・配管類
▨	天井解体・復旧

＜注記＞

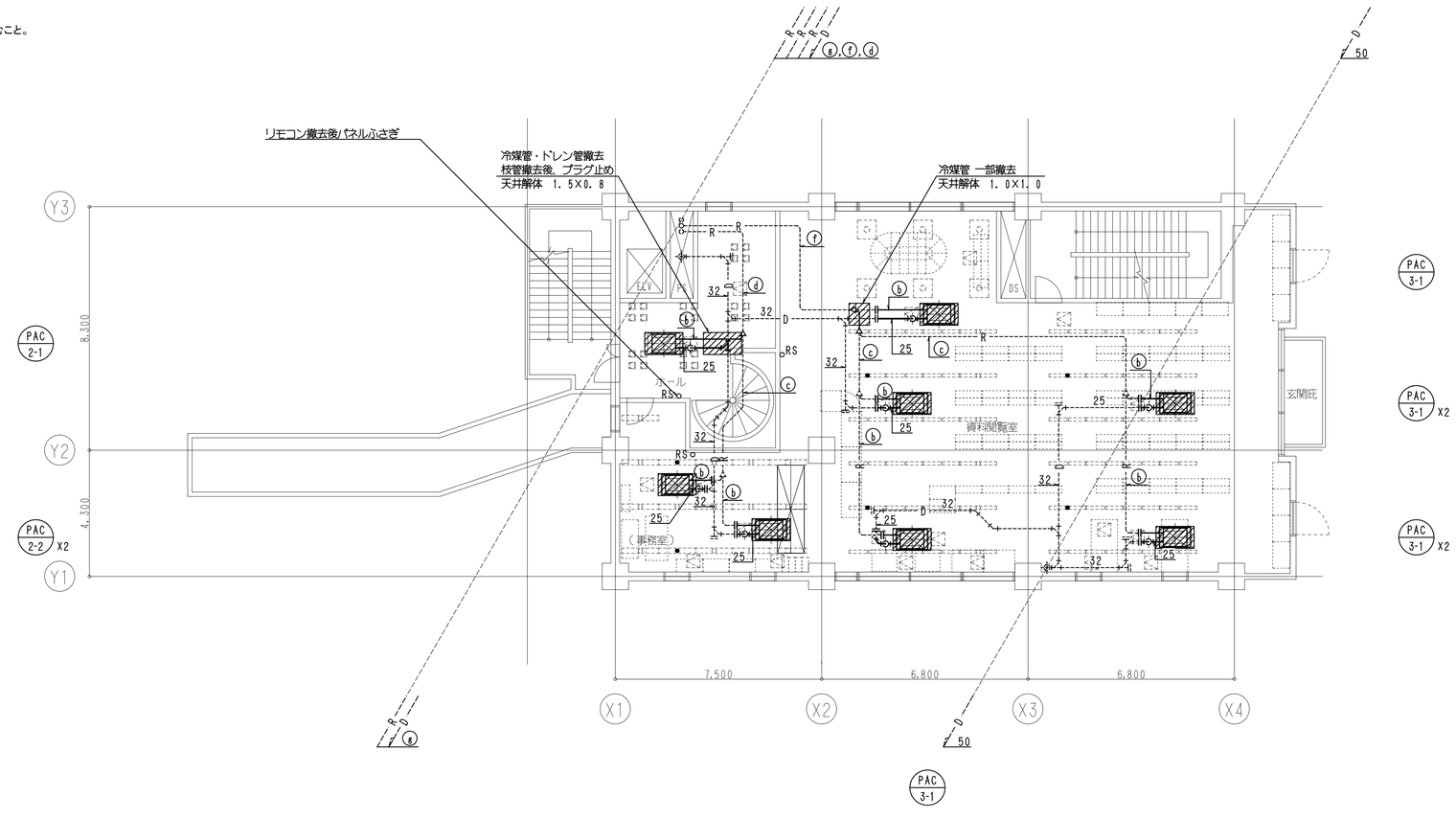
・既存ドレン管の配管洗浄を見込むこと。

・機器更新に伴う、天井解体面積は特記無き限り下記を見込むこと。

1．4×0．75m

凡 例

記 号	名 称	材 質
――R――	冷媒管	特記仕様書による。
――D――	ドレン管	〃
――Ⓣ――	ドレントラップ	



概要図

冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
ⓐ	6．35φ	9．52φ
ⓑ	6．35φ	12．7φ
ⓒ	9．52φ	15．88φ
ⓓ	9．52φ	19．05φ
ⓔ	9．52φ	25．4φ
ⓕ	12．7φ	25．4φ
ⓖ	12．7φ	28．58φ

特記事項					
訂 正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 見明 戸田 黒須 筋野	
・			図面名称 撤去 空気調和設備 2階配管平面図	作成年度 令和8年	縮 尺 1/100 A1 1/200 A3	図面番号 TM － 302

18	3階平面図	1／100

【改修概要】

■ 図示する空調機の撤去とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲を撤去とする。

■ リモコンは撤去とし、配線は再利用とする。

■ 機器撤去に伴う天井解体・復旧は本工事とする。

①化粧石膏ボード9.5t ②岩綿吸音板12t

凡 例

――――	撤去機器・配管類
- - - - - - - -	残置機器・配管類
▨	天井解体・復旧

＜注記＞

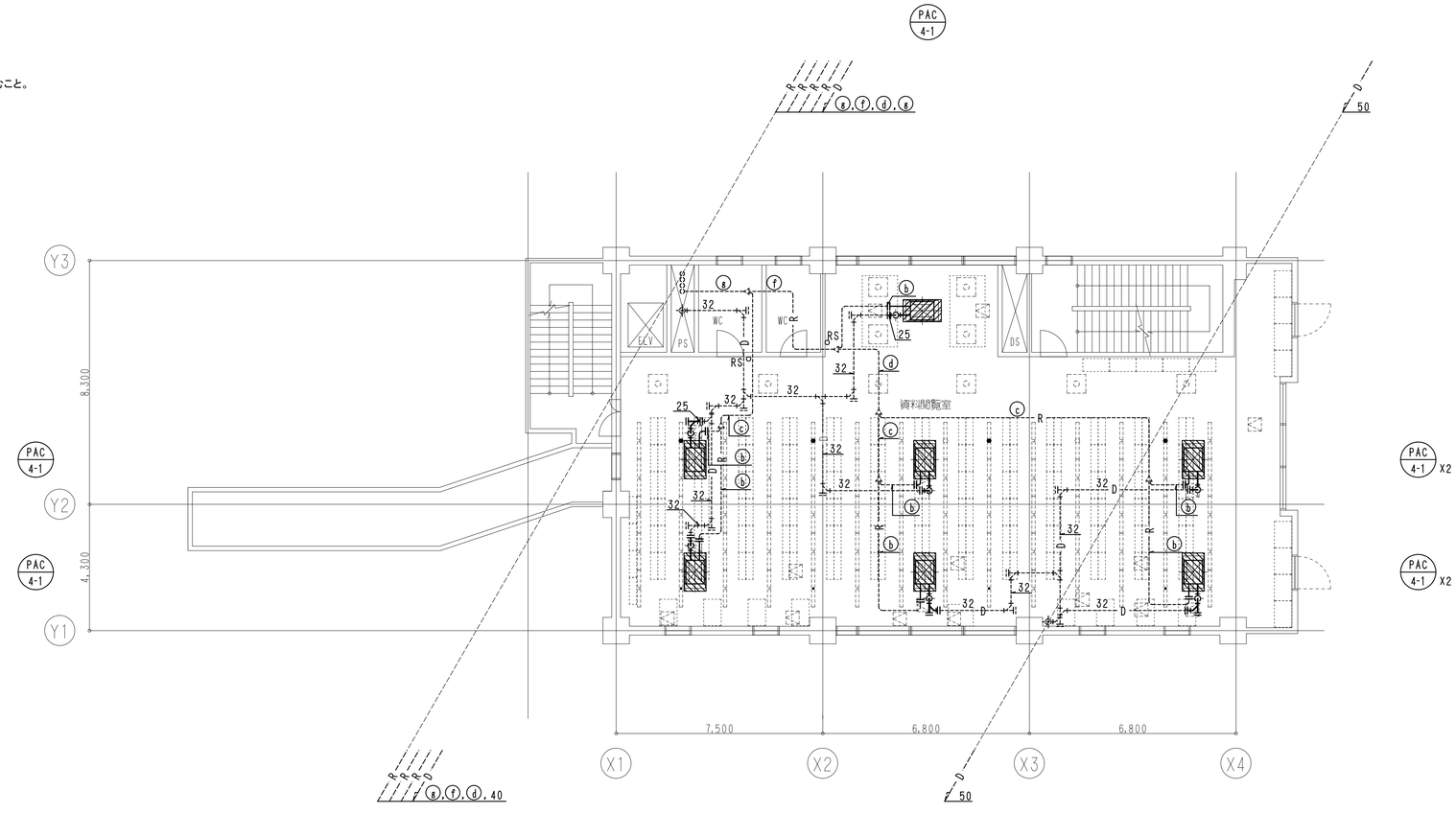
・既存ドレン管の配管洗浄を見込むこと。

・機器更新に伴う、天井解体面積は特記無き限り下記を見込むこと。

1．4×0．75m

凡 例

記 号	名 称	材 質
――R――	冷媒管	特記仕様書による。
――D――	ドレン管	〃
――Ⓣ――	ドレントラップ	



概要図

冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
ⓐ	6.35φ	9.52φ
ⓑ	6.35φ	12.7φ
ⓒ	9.52φ	15.88φ
ⓓ	9.52φ	19.05φ
ⓔ	9.52φ	25.4φ
ⓕ	12.7φ	25.4φ
ⓖ	12.7φ	28.58φ

特記事項

訂 正

テクノ工営 一級建築士事務所

業務名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務

工事名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事

施設部長 保全課：見明 戸田 黒須 筋野

図面名称：撤去 空気調和設備 3階配管平面図

作成年度：令和8年

縮 尺：1/100 A1 / 1/200 A3

図面番号：TM － 303

【改修概要】

- ■ 図示する空調機の撤去とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲を撤去とする。
- ■ リモコンは撤去とし、配線は再利用とする。
- ■ 機器撤去に伴う天井解体・復旧は本工事とする。
  ①化粧石膏ボード9.5t ②岩綿吸音板12t

凡 例

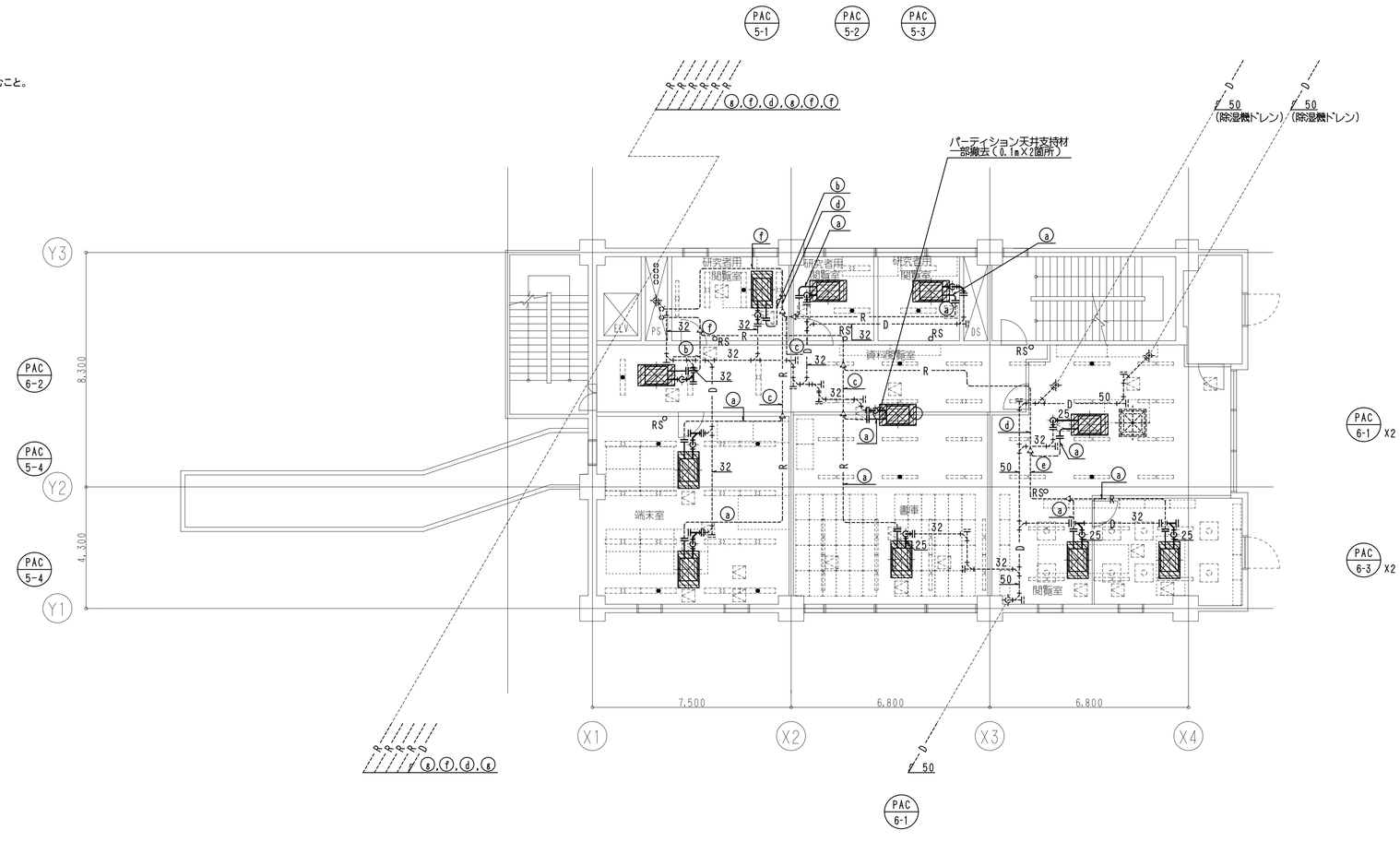
――――	撤去機器・配管類
- - - - - - - -	残置機器・配管類
▨	天井解体・復旧

凡 例

記 号	名 称	材 質
――R――	冷媒管	特記仕様書による。
――D――	ドレン管	〃
――Ⓣ――	ドレントラップ	

N

＜注記＞
・既存ドレン管の配管洗浄を見込むこと。
・機器更新に伴う、天井解体面積は特記無き限り下記を見込むこと。
1．4×0．75m



概要図

冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
ⓐ	6.35φ	9.52φ
ⓑ	6.35φ	12.7φ
ⓒ	9.52φ	15.88φ
ⓓ	9.52φ	19.05φ
ⓔ	9.52φ	25.4φ
ⓕ	12.7φ	25.4φ
ⓖ	12.7φ	28.58φ

特記事項

訂 正

テクノ工営 一級建築士事務所

業務名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務

工事名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事

施設部長 保全課：見明 戸田 黒須 筋野

図面名称：撤去 空気調和設備 4階配管平面図

作成年度：令和8年

縮 尺：1/100 A1 / 1/200 A3

図面番号：TM － 304

20	5階平面図	1／100

【改修概要】

■ 図示する空調機の撤去とする冷媒管・ドレン管は、原則機器より0.5mの範囲を撤去とする。

■ リモコンは撤去とし、配線は再利用とする。

■ 機器撤去に伴う天井解体・復旧は本工事とする。

①化粧石膏ボード9.5t ②岩綿吸音板12t

凡 例

――――	撤去機器・配管類
- - - - - - - -	残置機器・配管類
▨	天井解体・復旧

＜注記＞

・既存ドレン管の配管洗浄を見込むこと。

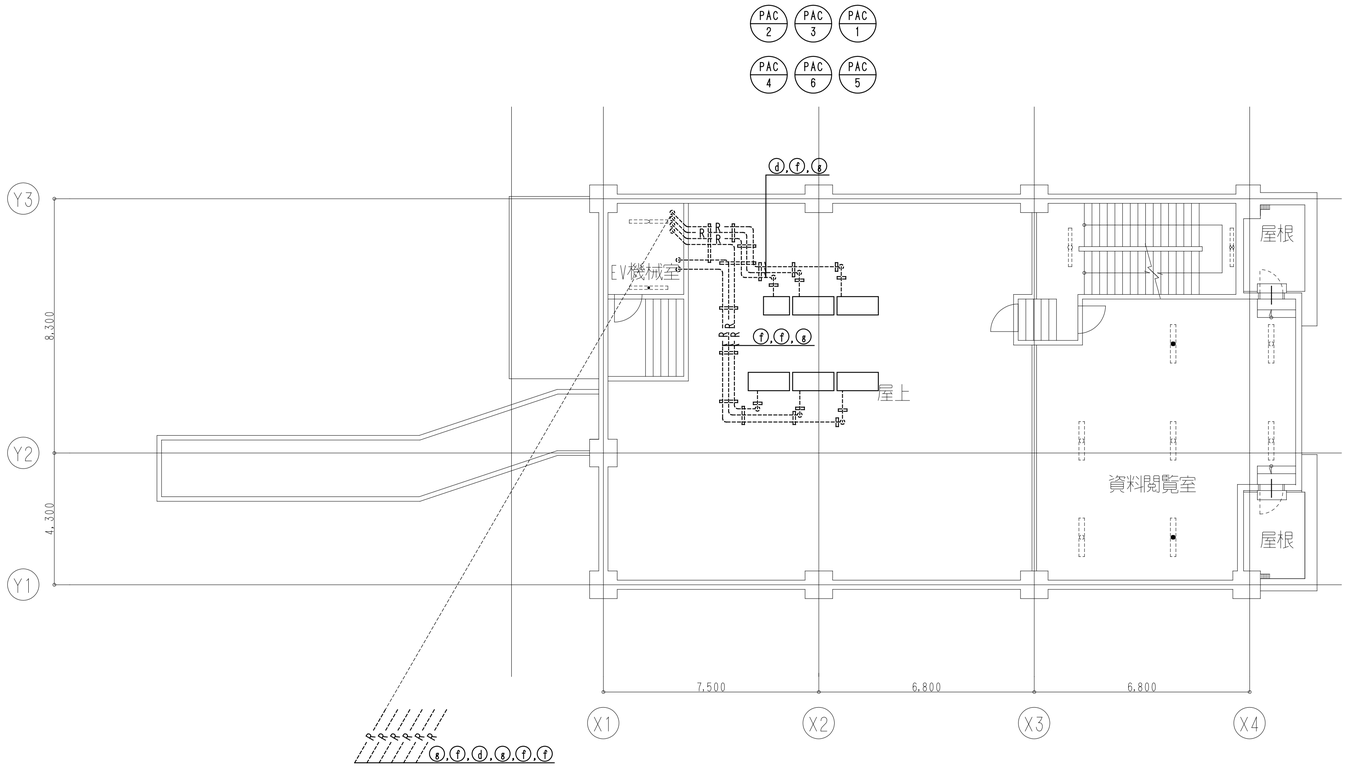
・機器更新に伴う、天井解体面積は特記無き限り下記を見込むこと。

1．4×0．75m

凡 例

記 号	名 称	材 質
――R――	冷媒管	特記仕様書による。
――D――	ドレン管	〃
――Ⓣ――	ドレントラップ	

N



概要図

冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
ⓐ	6.35φ	9.52φ
ⓑ	6.35φ	12.7φ
ⓒ	9.52φ	15.88φ
ⓓ	9.52φ	19.05φ
ⓔ	9.52φ	25.4φ
ⓕ	12.7φ	25.4φ
ⓖ	12.7φ	28.58φ

特記事項

訂 正	
・	
・	
・	
・	
・	

テクノ工営 一級建築士事務所

業務名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務

工事名称：東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事

施設部長 保全課：見明 戸田 黒須 筋野

東京大学 The University of Tokyo

図面名称：撤去 空気調和設備 5階配管平面図

作成年度：令和8年

縮 尺：1/100 A1　1/200 A3

図面番号：TM － 305

1	撤去　二次側動力設備　1階平面図	1／100

工事概要

■　空気調和機（室内機）および全熱交換器の撤去に伴い、配線の切り離し（離線）及びボックスの撤去を行う。
　　既設配線は再使用する為、残置する。（詳細は機器廻り撤去参考図参照とする。）

■　現地調査・確認を十分行い、監督員の承諾を得た上で作業を行うこと。

■　撤去に伴い躯体及び既設造作物を損傷しない様注意すること。補修が生じた場合、本工事にて補修を行うものとする。

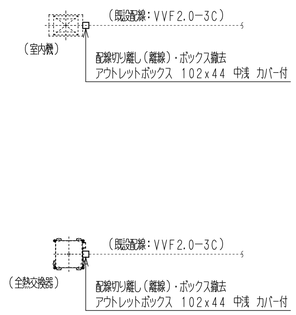
注記

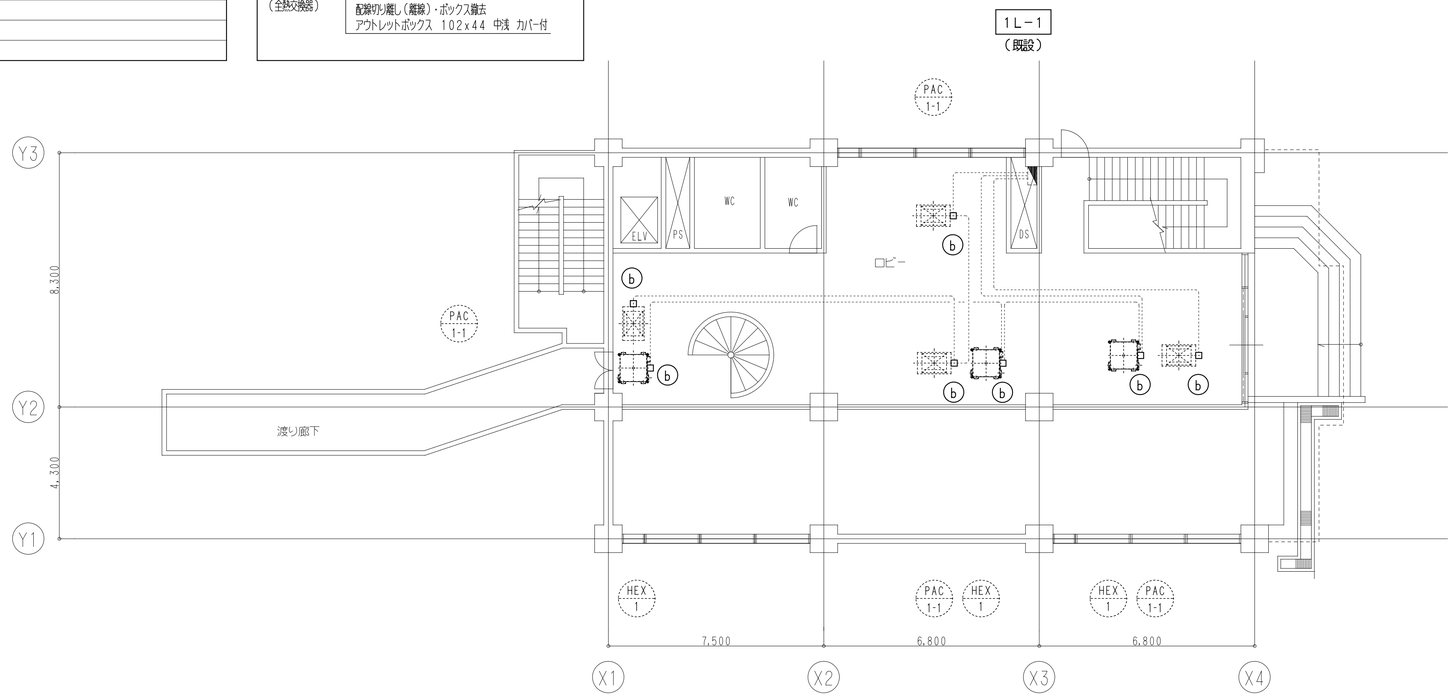
1．細点線表記のケーブル配線は再使用するため、撤去しない。ボックスについては撤去すること。

2．平面図に記載の（b）については機器廻り撤去参考図を参照すること。

3．空気調和機（室内機・室外機）及び全熱交換器の撤去については空気調和設備工事にて行う。

機器廻り撤去参考図（（a）詳細）



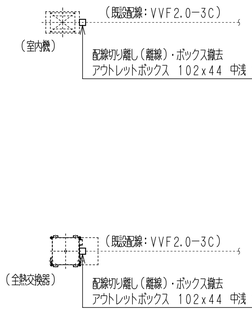


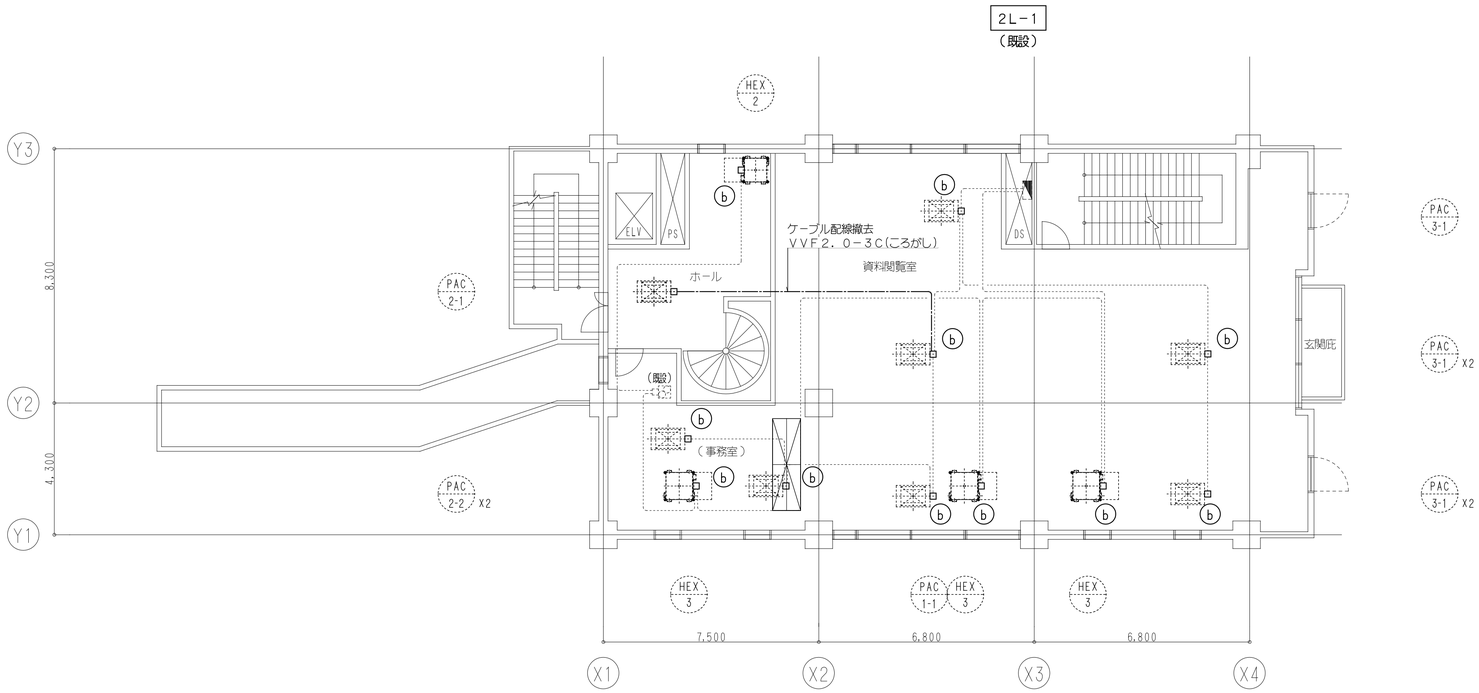
概要図

特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO　見明　戸田　黒須　筋野	
・ ・ ・ ・ ・			図面名称 撤去　二次側動力設備　1階平面図	作成年度 令和8年	縮　尺 1/100　A1 1/200　A3	図面番号 TM − 401

1	撤去　二次側動力設備　２階平面図	1／100

機器廻り撤去参考図（ⓑ詳細）



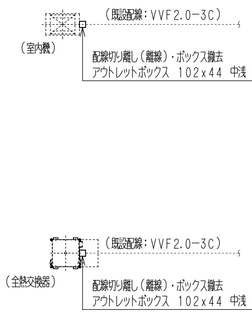


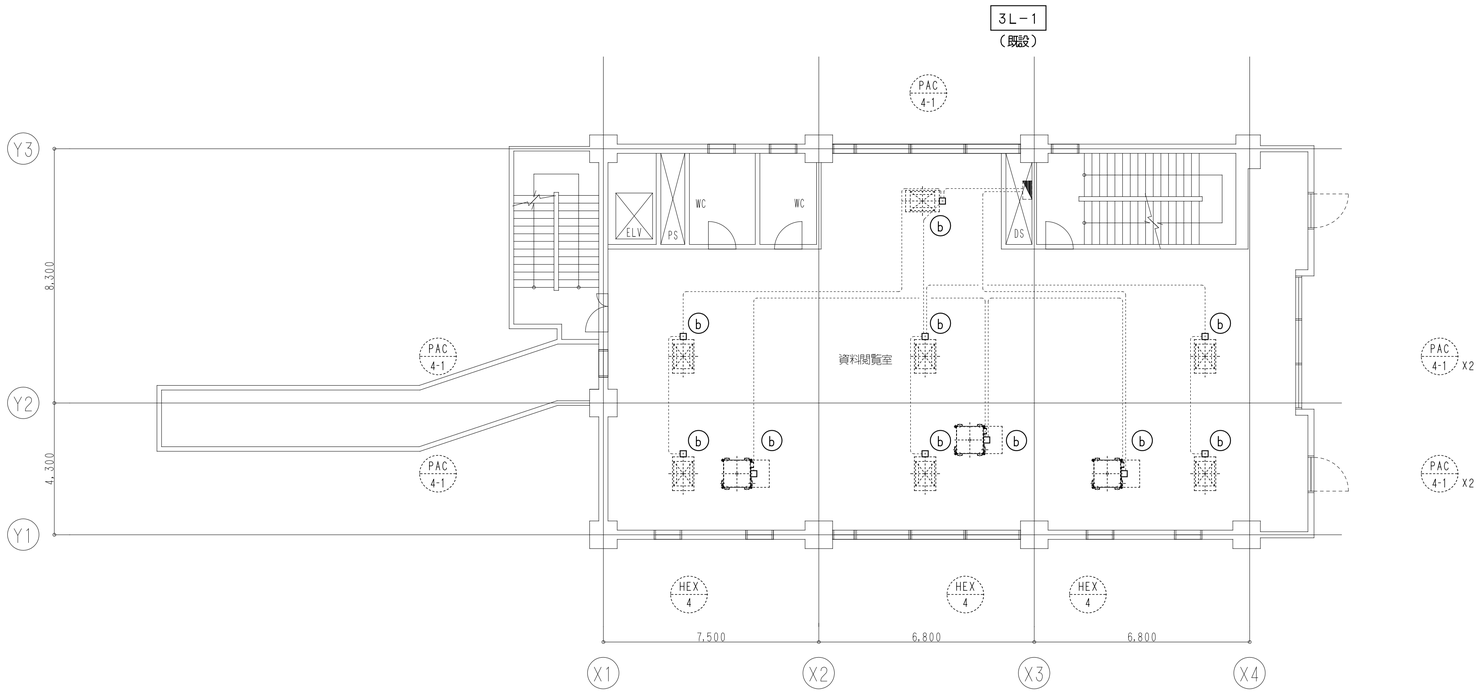
概要図

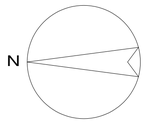
特記事項		業務名称	工事名称	施設部長 保全課		
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	東京大学 The University of Tokyo	見明 戸田	黒須 筋野
・			図面名称	作成年度	縮　尺	図面番号
・			撤去　二次側動力設備　２階平面図	令和8年	1/100 A1 1/200 A3	TM − 402
・						
・						
・						

1	撤去　二次側動力設備　３階平面図	1／100

機器廻り撤去参考図（ⓑ詳細）





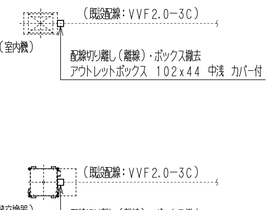


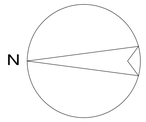
概要図

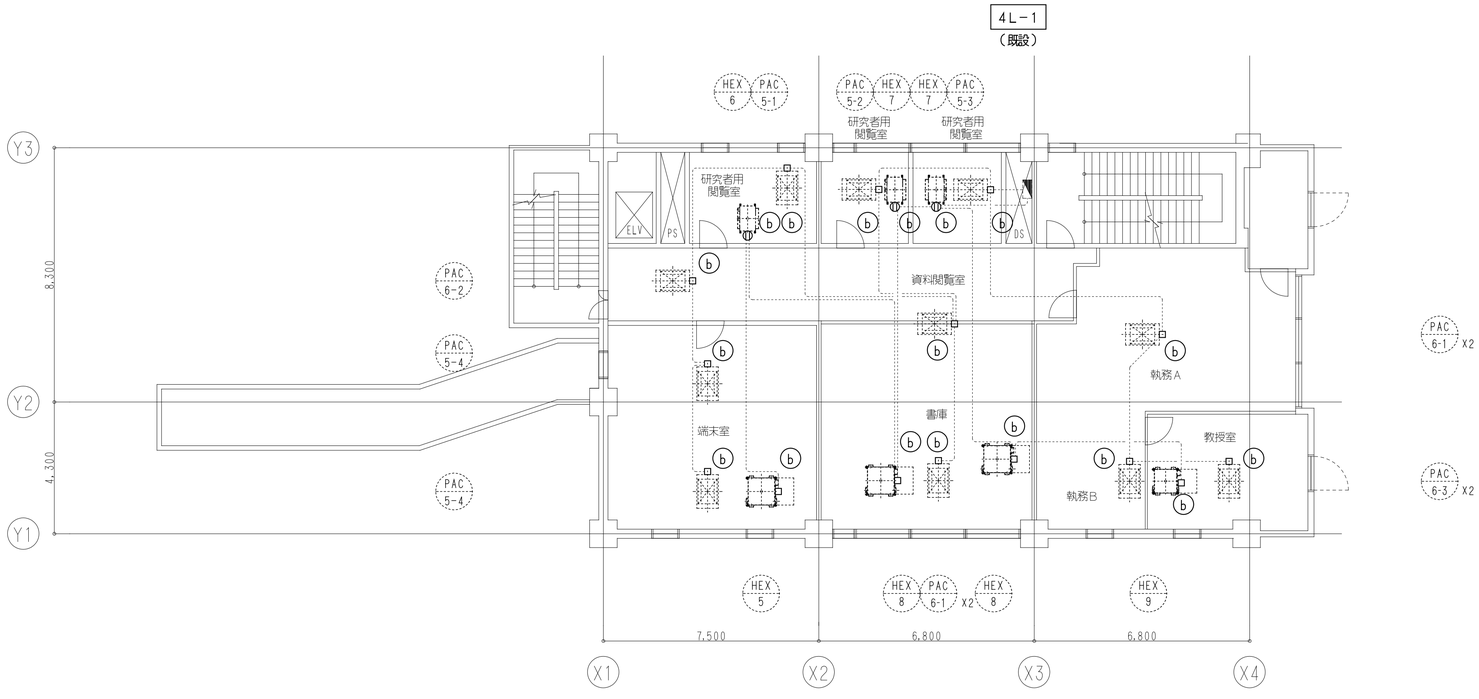
特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課 東京大学 The University of Tokyo 見明　戸田　黒須　筋野	
・ ・ ・ ・ ・			図面名称 撤去　二次側動力設備　３階平面図	作成年度 令和8年	縮　尺 1/100　A1 1/200　A3	図面番号 TM − 403

1	撤去　二次側動力設備　４階平面図	1／100

機器廻り撤去参考図（ⓑ詳細）







概要図

特記事項					
訂　正	テクノ工営 一級建築士事務所	業務名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務	工事名称 東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事	施設部長 保全課 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO　見明　戸田　黒須　筋野	
・ ・ ・ ・ ・			図面名称 撤去　二次側動力設備　４階平面図	作成年度 令和8年	縮　尺 1/100　A1 1/200　A3	図面番号 TM − 404

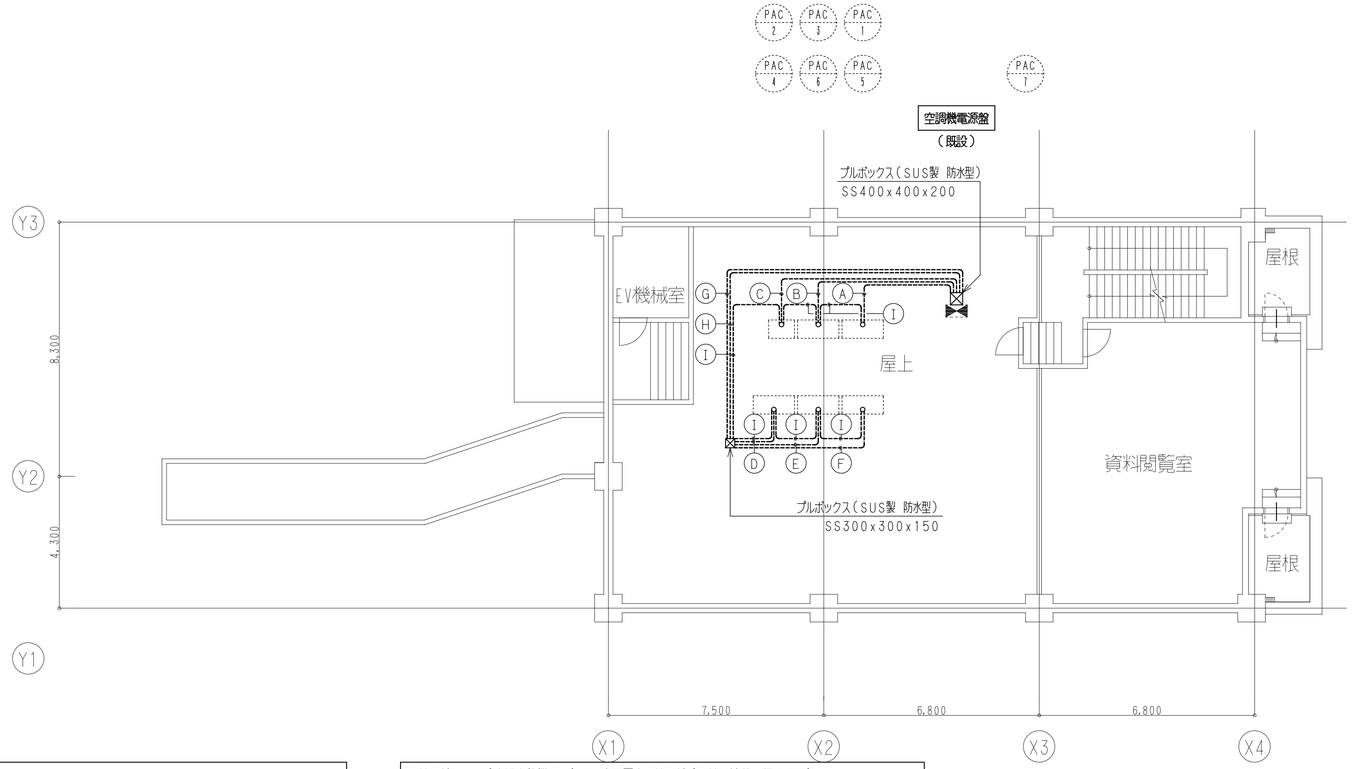
1	撤去　二次側動力設備　５階平面図	１／１００

工事概要（５階）

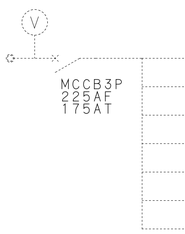
■　空気調和機（室外機）の撤去に伴い配管配線・プルボックスの撤去を行う。

■　現地調査・確認を十分行い、監督員の承諾を得た上で作業を行うこと。

■　撤去に伴い躯体及び既設造作物を損傷しない様注意すること。補修が生じた場合、本工事にて補修を行うものとする。



既設空調機電源盤　結線図（鋼板製自立型　防水仕様）



電圧	配線用遮断器	負荷名称	容量
3φ3W200V	MCCB3P 100AF/75AT	PAC-1	7.7kw
3φ3W200V	MCCB3P 50AF/40AT	PAC-2	3.88kw
3φ3W200V	MCCB3P 50AF/50AT	PAC-3	5.7kw
3φ3W200V	MCCB3P 100AF/75AT	PAC-4	7.7kw
3φ3W200V	MCCB3P 50AF/50AT	PAC-5	5.7kw
3φ3W200V	MCCB3P 50AF/50AT	PAC-6	5.7kw
3φ3W200V	MCCB3P 50AF/30AT	4F医薬空調機	2.0kw

計：28.38kw

ED ◎

配管配線リスト（空調室外機廻り）　※全て露出配管配線（配管の塗装は行わない）

記号	負荷名称	ケーブル	配管	電動機接続材
Ⓐ	PAC-1	CV　8□-3C・E5.5□	(G28)	F2(30)WP
Ⓑ	PAC-2	CV5.5□-3C・E5.5□	(G22)	F2(24)WP
Ⓒ	PAC-3	CV5.5□-3C・E5.5□	(G22)	F2(24)WP
Ⓓ	PAC-4	CV　8□-3C・E5.5□	(G28)	F2(30)WP
Ⓔ	PAC-5	CV5.5□-3C・E5.5□	(G22)	F2(24)WP
Ⓕ	PAC-6	CV5.5□-3C・E5.5□	(G22)	F2(24)WP
Ⓖ	PAC-4	CV　8□-3C・E5.5□	(G28)	F2(30)WP
Ⓗ	PAC-5	CV5.5□-3C・E5.5□	(G36)	F2(38)WP
	PAC-6	CV5.5□-3C・E5.5□		
Ⓘ	－	CVV1.25□-2C	(G22)	F2(24)WP

電動機接続材の使用箇所は下記による。

１）空調室外機接続箇所

２）空調機電源盤後部のプルボックスへの配管接続箇所

概要図

特記事項

訂　正	
・	
・	
・	
・	
・	

テクノ工営 一級建築士事務所

業務名称	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修設計業務
工事名称	東京大学（本郷）薬学部資料館空調設備改修工事
図面名称	撤去　二次側動力設備　５階平面図
作成年度	令和8年
縮　尺	1/100　A1 1/200　A3
図面番号	TM － 405

東京大学 The University of Tokyo

施設部長　保全課

見明　戸田　黒須　防野